BJ F860
リファレンスガイド

このたびは、キヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
このガイドでは、本機でのさまざまな印刷のしかた、ソフトウェアの使いかた、トラブル時の対処のしかたについて、詳しく説明します。
このガイドは、Adobe Acrobat Reader 4.0J 以降でご覧になることをお勧めします。
バージョン 4.0 以前の Acrobat Reader をお使いの方は、次のページをご覧ください。

はじめて、このガイドをご覧になる方は、
このボタンをクリックしてください。

V01

次のページ　目次

はじめに

この『リファレンスガイド』では、プリンタ本体とプリンタの基本操作および応用操作、いろいろな用紙に印刷する方法、困ったときの対処のしかた、メンテナンスの方法などについて詳しく説明しています。
プリンタの機能をフルに使うために、このガイドをご活用ください。

また『基本操作ガイド』では、基本的な印刷手順、用紙がつまったときの対処のしかたなど、通常プリンタをお使いになる際に必要となる基本的な項目について説明しています。

●バージョン 4.0 以前の Acrobat Reader をお使いの方へ

バージョン 4.0 以前の Acrobat Reader でこのガイドをご覧になると、掲載の画面例がはっきり表示されないことがあります。
Acrobat Reader 4.0 以降のバージョンがインストールされていない場合は、付属の『プリンタドライバ / リファレンスガイド（CD-ROM）』に収録されている Acrobat Reader 4.05 をインストールすることをお勧めします。インストールについて詳しくは、『プリンタドライバ / リファレンスガイド（CD-ROM）』に付属の説明書をご覧ください。

リファレンスガイドの使いかた　1/2

ここでは、このガイドのボタン操作の方法などについて説明します。

●このガイドのボタンについて

このガイドの各ページの下の方には、ボタンが並んでいます。このボタンを活用しながら、上手にガイドをご利用ください。
リファレンスガイド上のボタンだけではなく、Acrobat Reader のツールバーを使うこともできます。
詳しい使いかたについては、Acrobat Reader のヘルプをご覧ください。

●リンクについて

青い文字で書かれている項目をクリックすると、参照先にジャンプできます。

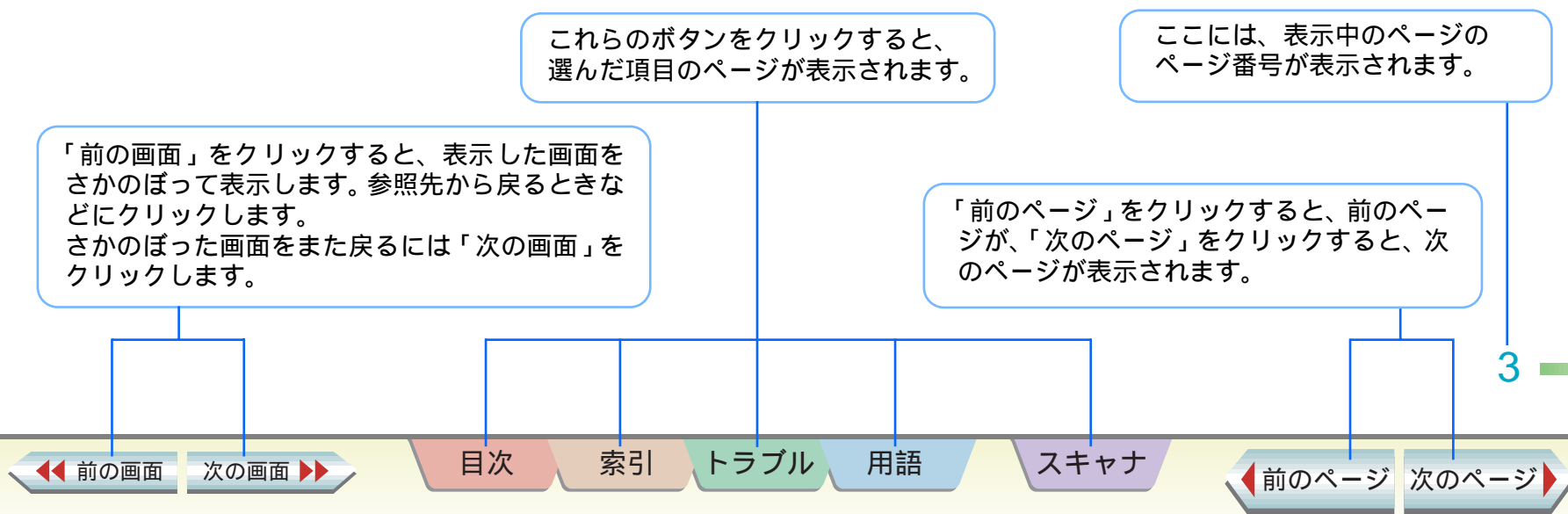
●アニメーションアイコンについて

このアイコンをクリックすると、アニメーションで操作説明を見ることができます。

これらのボタンをクリックすると、選んだ項目のページが表示されます。

ここには、表示中のページのページ番号が表示されます。

「前の画面」をクリックすると、表示した画面をさかのぼって表示します。参照先から戻るときなどにクリックします。
さかのぼった画面をまた戻るには「次の画面」をクリックします。

「前のページ」をクリックすると、前のページが、「次のページ」をクリックすると、次のページが表示されます。

●使用しているマークについて

本書では、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告 :取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 :取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

禁止 :取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。

note :操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

●商標について

Canon は、キヤノン株式会社の登録商標です。
BJ は、キヤノン株式会社の商標です。

Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標（地域によっては登録商標）です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

悩んだときはヘルプを見る

バルーンヘルプを使うと、操作中にダイアログのボタンや設定項目についての簡単な説明を見ることができます。

付録

各部の名称と役割　1/4

●前面

・用紙サポート
オートシートフィーダにセットされた用紙を支えます。用紙をセットするときに、引き出してください。

・用紙ガイド
用紙をセットしたとき、用紙の端に軽く当てます。

・オートシートフィーダ
ここに用紙をセットします（厚紙は除く）。複数枚の用紙をセットした場合は、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

・操作パネル
➡ 操作パネル

・紙間選択レバー
プリントヘッドと用紙の間隔を調整するためのレバーです。用紙の種類によって、レバーの位置を切り替えます。

・フロントカバー
プリントヘッドやインクタンクを交換するときに開けます。

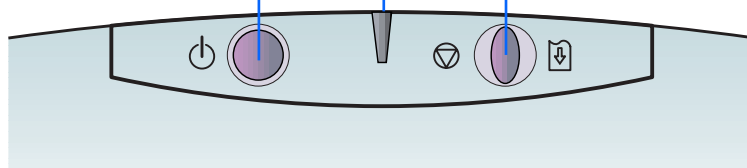
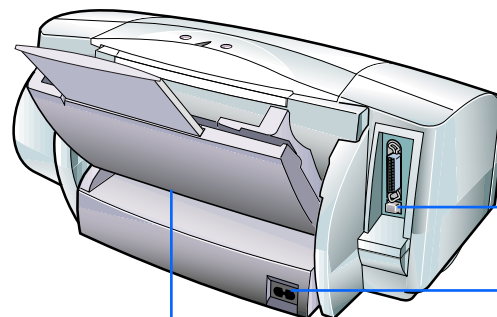
・排紙トレイ
印刷された用紙がここに排出されます。印刷するときには引き出しておきます。

●操作パネル

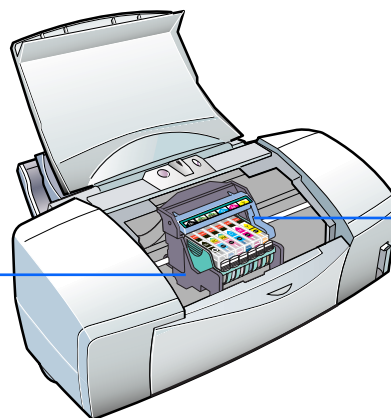
・ランプ
電源を入れると緑色に点灯します。ランプは緑色やオレンジ色に点滅・点灯し、プリンタの状態を知らせます。

消灯..........電源が切れている状態です。
緑色に点灯..........印刷ができる状態です。
緑色に点滅..........プリンタの準備動作中、または印刷中です。
緑色とオレンジ色の点滅......エラーが発生し、印刷ができない状態です。

・電源ボタン
電源を入れたり切ったりするためのボタンです。

・リセットボタン
プリンタのトラブルが解決したら、このボタンを押して印刷できる状態に戻します。また、印刷中に押すと、印刷を中止することができます。

●背面

・USB ケーブル接続部
USB ケーブルを使ってコンピュータと
接続するためのコネクタです。
・手差し給紙口
手差しで印刷するときは、ここに用紙を
セットします。
用紙は 1 枚ずつセットしてください。
・電源コード接続部
電源コードを接続する
ためのコネクタです。

●プリンタ内部

・プリントヘッドホルダ
プリントヘッドまたはスキャナカートリッジを取り付ける場所です。

・プリントヘッド固定レバー
プリントヘッドホルダにセットされたプリントヘッドまたはスキャナカートリッジを固定します。
プリントヘッドを交換するときにレバーを引き上げます。

印刷の前に

印刷を始める前に、次の準備が終わっているか、確認しましょう。

●プリントヘッドとインクタンクの取り付けは終わっていますか？

印刷をするには、プリントヘッドとインクタンクの取り付けが必要です。

『かんたんスタートガイド』

●プリンタとコンピュータの接続は終わっていますか？

『かんたんスタートガイド』

●プリンタドライバのインストールは終わっていますか？

「プリンタドライバ」とは、コンピュータで作成した写真や書類などをプリンタが理解できるデータに変換するソフトウェアです。「プリンタドライバ」がないと、コンピュータで作成した写真や書類を印刷できません。必ずインストールしてください。

『かんたんスタートガイド』

●［ セレクタ ］でプリンタが選択されていますか？

［ セレクタ ］で本機を選択しておかないと、印刷ができません。

『かんたんスタートガイド』

●プリントヘッドの位置調整は終わっていますか？

印刷のときに正確な位置に印刷できるよう、プリントヘッドの位置調整を行ってください。位置調整を行わないと、罫線がずれたり、印刷にむらが出たりする原因になります。

『かんたんスタートガイド』

●プリンタの電源が入っていますか？

プリンタのランプが緑色に点灯しているか、確認してください。

印刷の手順

印刷の操作は大まかに次のような流れになります。

アプリケーションソフトで、文書を作成する

↓

用紙設定ダイアログで用紙のサイズなどを設定する

↓

プリントダイアログで印刷設定、用紙の種類、印刷部数などを設定し、[プリント] をクリックする

↓

印刷が始まる

ファイル　編集
新規　⌘N
開く...　⌘O
閉じる　⌘W
保存　⌘S
別名で保存...
用紙設定...
プリント...　⌘P
1部プリント
終了　⌘Q

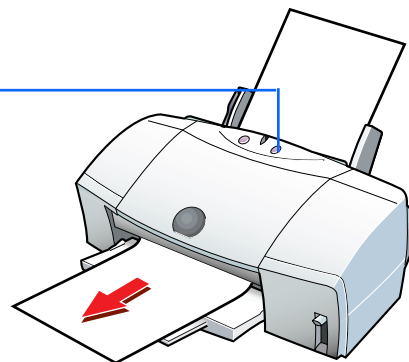
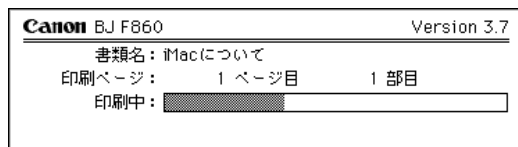
Canon BJ F860　Version 3.7
OK
キャンセル
用紙設計
ユーティリティ
用紙サイズ：A4
バナー紙（長尺紙）印刷
拡大/縮小：100 ％
印刷方向：
設定保存
高さ：297.0mm　幅：210.0mm

Canon BJ F860　Version 3.7
プリント
キャンセル
部数：1　ページ：全ページ　から
BJカートリッジ：フォト
用紙の種類：普通紙
給紙方法：オートシートフィーダ
グレースケール印刷
印刷設定：
現在の設定：文書
印刷品位：標準（速度優先）
ディザリング：誤差拡散
色補正：BJ標準
詳細設定
オプション
設定登録

印刷を中止したいときには

プリンタのリセットボタンを押すと、印刷を中止することができます。

1

リセットボタンを押します。
・ 印刷が中止され、印刷途中の用紙が排出されます。

以下の方法で印刷を中止することもできます。
・ 次の画面が表示されているときは、＜ コマンド ＞ キーを押しながら ＜ . ＞（ピリオド）を押すと印刷が中止されます。

・ バックグラウンド印刷を [オン] にしている場合は、BJ プリントモニタを開いてプリンタドライバから印刷を中止することもできます。

BJ プリントモニタを開く
印刷を中止する / 一時停止する

プリンタを選択する

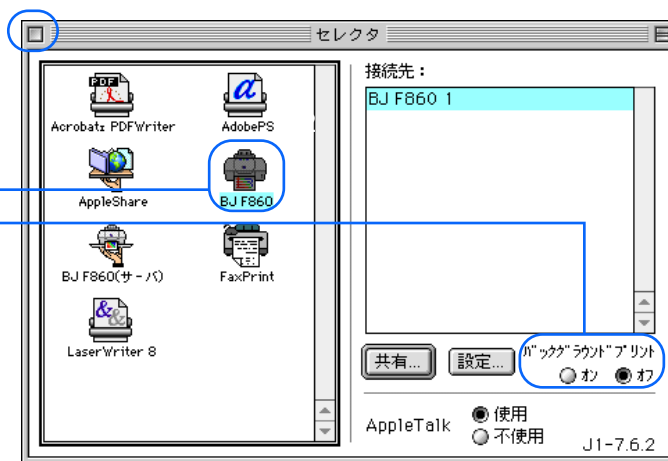
プリンタを使用する前に、[セレクタ] でプリンタを選択しておく必要があります。この操作はプリンタドライバをインストールしたあと一度行えば、プリンタを変更しない限り、選択し直す必要はありません。

1. **アップルメニューから [セレクタ] を選択します。**
   ・[セレクタ] ダイアログが表示されます。

2. **ご使用の機種名のアイコンをクリックします。**

3. **バックグラウンド印刷を行う場合は [オン] をクリックします。**
   バックグラウンドで印刷する（BJ プリントモニタ）

4. **クローズボックスをクリックします。**
   ・[セレクタ] が閉じます。

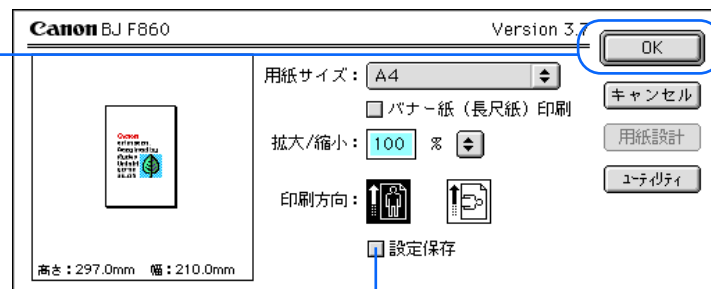
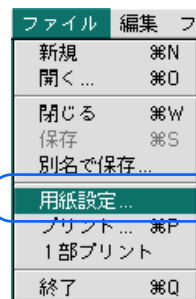
用紙サイズに関する設定をする（用紙設定ダイアログ）

印刷に使用する用紙のサイズは、一般的にはアプリケーションソフトで書類を作成するときに選択します。用紙設定ダイアログでは、用紙サイズ、拡大 / 縮小、印刷方向の設定を行うことができます。また、プリンタのメンテナンスもこのダイアログから行います。

1

アプリケーションソフトで、用紙の設定を行うためのメニュー項目を選択します。
一般的には [ファイル] メニューの [用紙設定] を選択します。
・ 用紙設定ダイアログが表示されます。

➡ 用紙サイズを変更する
➡ 印刷方向を変更する
➡ 定型外の用紙に印刷する
➡ 拡大 / 縮小して印刷する
➡ メンテナンス機能

2

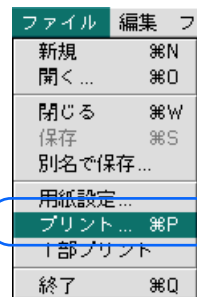
設定が終了したら [OK] をクリックします。

このダイアログで行った設定を保存したいときに、クリックして、チェックマークを付けます。

基本的な印刷設定をする　1/2

目的に応じたきれいな印刷をするために、プリントダイアログで、プリンタにセットする用紙の種類や給紙方法を設定し、原稿に適した印刷設定のアイコンを選びます。

1

アプリケーションソフトで、印刷を実行するためのメニュー項目を選択します。
一般的には［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
・プリントダイアログが表示されます。

2

印刷部数を入力し、印刷するページを選択します。

note 特定のページを印刷したい場合は、「から」の前後に印刷開始ページと印刷終了ページを入力します。

3

［ 用紙の種類 ］、［ 給紙方法 ］を選択します。をクリックすると一覧が表示されます。

note ［BJ カートリッジ ］は選択する必要はありません。

4

［ 印刷設定 ］で、印刷する原稿の種類に近いアイコンを選択します。

［文書］アイコン
文書中心の原稿を標準的な品質で印刷します。

［グラフィックス］アイコン
グラフや色の境界がはっきりしたコンピュータグラフィックスなどの印刷に適しています。

［写真］アイコン
写真やグラデーションを多用したグラフィックスの印刷に適しています。

note

［マニュアル］アイコンを選択すると、好みに応じて印刷条件を細かく設定して印刷できます。

詳細な印刷設定をする

5

［ プリント ］をクリックします。

・ 印刷が始まります。

選択した［ 印刷設定 ］アイコンの設定内容が表示されます。

詳細な印刷設定をする　1 / 2

［ 印刷設定 ］でマニュアルアイコン（ ）を選択すると、印刷の品質や色に関する設定を細かく調整できます。また画像に特殊効果を与える設定もできます。

1. プリントダイアログを開き、［ 部数 ］、［ 用紙の種類 ］、［ 給紙方法 ］を設定します。
   ➡ 基本的な印刷設定をする

2. ［ 印刷設定 ］で、マニュアルアイコン（ ）をクリックします。

3. ［ 詳細設定 ］をクリックします。
   ・［ 詳細設定 ］ダイアログが表示されます。

4. クオリティパネルで品質についての設定をします。
   ➡ 印刷品位を変更する
   ➡ 中間色の表現方法（ディザリング）を変更する
   ➡ 写真の色合いを補正する（オートフォトパーフェクト）

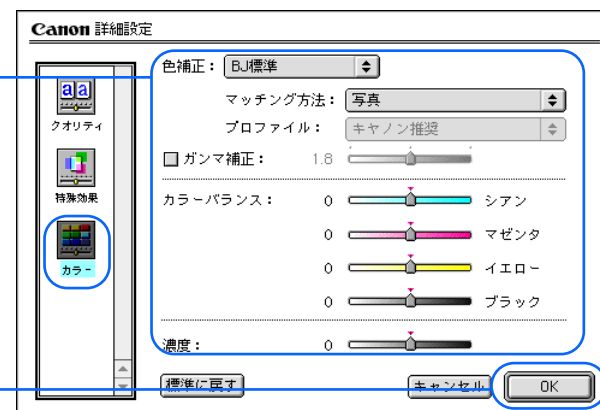
詳細な印刷設定をする　2/2

5
画像データに特殊効果を与える設定は、[特殊効果] アイコンをクリックして表示される特殊効果パネルで行います。
イラストタッチで印刷する
カラー原稿を単色で印刷する

6
色についての設定は、[カラー] アイコンをクリックして表示されるカラーパネルで行います。
全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する

7
設定が終了したら [OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。
note 設定した内容を登録することができます。
好みの印刷設定を登録する

8
[プリント] をクリックします。
・ 印刷が始まります。

使用できる用紙のサイズ

●重さ

本機で使用できるのは、64 ～ 500g/m² （用紙の厚さが 0.6mm 以下）の用紙です。
この重さを超える用紙は、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。
用紙の重さによって、用紙をセットできる場所が異なります。

・オートシートフィーダ
64 ～ 105g/m² の用紙をセットできます。105g/m² を超える用紙は手差し給紙口にセットしてください。

・手差し給紙口
64 ～ 500g/m² の用紙をセットできます。

●大きさ

使用できる定型紙の大きさは、右の表のとおりです。

●縦置きと横置き

用紙の長いほうを縦にしてセットすることを縦置き、短いほうを縦にしてセットすることを横置きといいます。
本機では、A5 は、縦置き / 横置きのどちらの向きにもセットすることができます。封筒（洋形 4 号、洋形 6 号）は、横置きでのみセットすることができます。その他のサイズの用紙は、縦置きでのみセットすることができます。
右の表で、用紙名に「横」と付いているものは、横置きの場合を示します。

用紙	幅×長さ（単位:mm ）
A5	148.0 × 210.0
A5 横	210.0 × 148.0
A4	210.0 × 297.0
B5	182.0 × 257.0
Letter	215.9 × 279.4（8.5 × 11.0 インチ）
Legal	215.9 × 355.6（8.5 × 14.0 インチ）
はがき	100.0 × 148.0
封筒（洋形４号）	235.0 × 105.0
封筒（洋形６号）	190.0 × 98.0
プロフェッショナルフォトカード（L 判）＊1	101.6 × 190.5（ミシン目付きサイズ） 89.0 × 127.0（仕上がりサイズ）
プロフェッショナルフォトカード（2L 判）＊1	210.0 × 183.0（ミシン目付きサイズ） 178.0 × 127.0（仕上がりサイズ）
プロフェッショナルフォトカード（DSC 判 4 面取り）＊1	210.0 × 310.0（ミシン目付きサイズ） 89.0 × 119.0（仕上がりサイズ）
プロフェッショナルフォトカード（デジカメ六切り判）＊1	210.0 × 310.0（ミシン目付きサイズ） 190.0 × 254.0（仕上がりサイズ）
フォト光沢カード＊2	118 × 214（ミシン目付きサイズ） 102 × 152（仕上がりサイズ）

定型外の用紙を使用する場合は、以下の範囲内で使用できます。

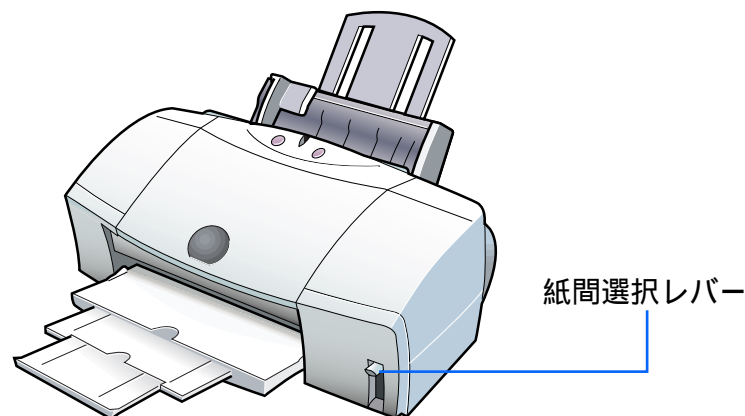
・最小サイズ 100.0 × 100.0mm
・最大サイズ 241.3 × 584.2mm

＊1 印刷は、付属のアプリケーションソフト「ImageBrowser」を使用してください。
＊2 プリンタドライバでの設定は、「フォトカード」です。

印刷するときのポイント　*1/2*

印刷するときは、用紙の種類によって操作が必要なものがあります。
また、用紙の特長を生かすために、次のポイントを押さえると、よりきれいに印刷することができます。
用紙別の詳しい操作については、次ページの参照項目をご覧ください。

●注意しておきたい操作

・用紙の種類にあわせて、紙間選択レバーをセットする

お使いの用紙にあわせて、紙間選択レバーを上（ ）か下（ ）にセットしてください。

・用紙のセットのしかたに注意する

用紙によっては、普通紙と違う方法でセットするものがあります。

印刷するときのポイント　2/2

●よりきれいに印刷するためのポイント

・プリントダイアログで基本的な印刷設定をする

原稿の種類や目的、使用する用紙の種類を設定します。

基本的な印刷設定をする

・原稿の内容に適した用紙を使う

キヤノン製専用紙には、用途や印刷する内容に応じて、さまざまな種類があります。きれいな印刷をめざすには、キヤノン製専用紙のご使用をお勧めします。

プリントダイアログの［用紙の種類］の設定を、お使いの用紙にあわせてください。

基本的な印刷設定をする

・用紙別の詳しい操作について

普通紙に印刷する
はがきに印刷する
封筒に印刷する
プロフェッショナルフォトペーパーに印刷する
フォト光沢紙に印刷する
高品位専用紙に印刷する
プロフェッショナルフォトはがきに印刷する
フォト光沢ハガキに印刷する
プロフェッショナルフォトカードに印刷する
フォト光沢カードに印刷する
フォト光沢フィルムに印刷する
OHP フィルムに印刷する
T シャツ転写紙に印刷する
バナー紙に印刷する
厚紙に印刷する

用紙についてのご注意

●取扱いについてのご注意

・用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面が傷ついたり汚れたりすると、印刷の品質が低下することがあります。

・印刷後、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。また、印刷済みの用紙を水で濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面に触らないでください。

・用紙を保管するときは、用紙が入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所をさけてください。また、曲がったりしわがついたりしないように水平に置いてください。

・用紙によっては、インクを大量に使う印刷をすると用紙がカールして印刷面がこすれることがあります。この場合は、紙間選択レバーを下にセットしてみてください。また、このような用紙は写真やグラフィックスを含む原稿の印刷にはお勧めできません。文字中心の原稿の印刷にご使用になることをお勧めします。

●用紙をセットするときのご注意

・用紙をさばいて、端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙をさばかなかったり、端をそろえずにセットしたりすると、紙づまりの原因となることがあります。

・用紙がカールしているときは、逆向きに曲げてカールを直してからセットしてください。このとき、用紙の表面が波状にならないようにしてください。

普通紙に印刷する

●普通紙の種類

一般的な複写機に使われるコピー用紙（64 ～ 105g/m^2）や、キヤノン製のカラーバブルジェット専用普通紙（LC-301）に印刷できます。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（より白い面）を上にしてセットしてください。
・一度にセットできる枚数は、100 枚（75g/m^2 のとき）、10mm までです。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［普通紙］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

50 枚程度まで
（排出された用紙がカールするとき、インクが乾きにくい場合は、印刷が１枚終わるごとに用紙を取り除いてください）

はがきに印刷する

●はがきの種類

写真やステッカーを貼ったはがき、往復はがき、折り目のついたはがきは、使用できません。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［はがき］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

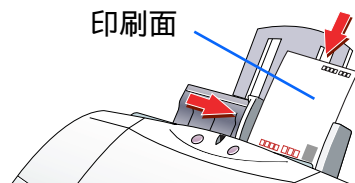
上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●はがきの扱いかた

用紙についてのご注意

●はがきをセットするとき

・印刷面を上にして、 必ず縦置きにセットしてください。

・一度にセットできる枚数は、40 枚までです。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

・官製はがき：［はがき］に設定します。
・インクジェット用官製はがき
：宛名面は［はがき］に、通信面は［ インクジェット官製葉書 ］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

40 枚程度まで
(写真などを印刷した場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください)

封筒に印刷する　1/2

●封筒の種類

・型押しやコーティングなどの表面加工してある封筒は使用しないでください。きれいに印刷できません。
・ふたの部分が二重になっているものや、シールになっているものは使用しないでください。 正しく紙送りできません。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙サイズを［洋形 4 号］または［洋形 6 号］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

下（✉）にセットします。

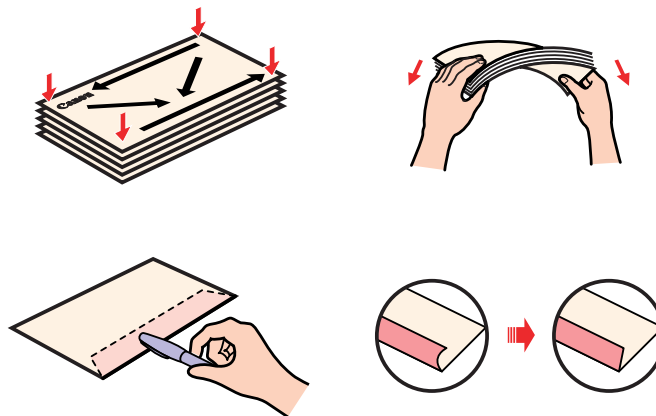
➡ 印刷するときのポイント

●封筒の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●封筒をセットする前に

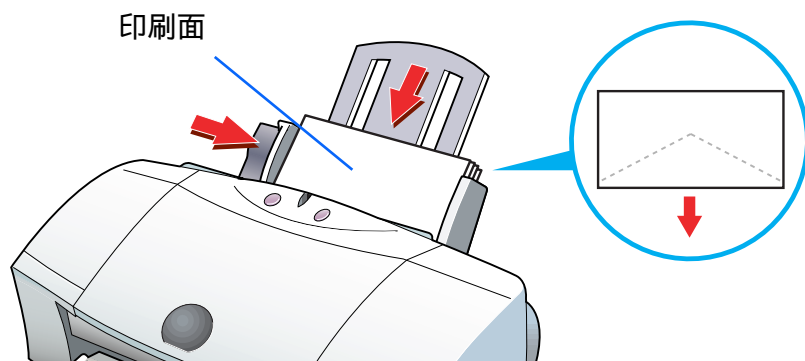
封筒の準備をします。

1. 四隅を押してから、封筒の周りを押して反りや曲がりを取り、封筒の中の空気を抜きます。
2. ①の操作を行っても反っている場合は、封筒の端を対角線に持って、軽く逆方向に曲げます。封筒のふたの部分がまっすぐになったか確認します。
3. ペンの先などを使って封筒のふたの部分をしっかりとつぶしておくと、うまく給紙できます。

1
2
3
note

・封筒の反りを直さなかったり、端をそろえずにセットしたりすると、紙づまりの原因になることがあります。
・反りやふくらみは、3mm 以内になるようにしてください。

封筒に印刷する　2 / 2

●封筒をセットするとき

・宛名面を上にして（封筒のふたが下になるように）セットしてください。

・一度にセットできる枚数は、10 枚までです。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［封筒］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

10 枚まで

●プロフェッショナルフォトペーパー（型番：PR-101）とは

光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙で、カラーの発色に特に優れています。印刷面に光沢があるため、高画質な写真の印刷に最適です。
本機では、この用紙に印刷したときに最も高い画質で印刷することができます。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

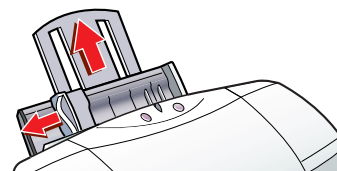
印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

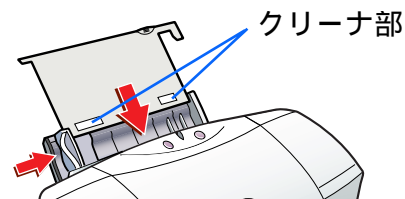
用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（より光沢がある面）を上にしてセットしてください。
・クリーニングプレートをセットした上に用紙をセットしてください。
・クリーニングプレートのセット方法は右のとおりです。

1. 用紙サポートを引き出し、用紙ガイドを広げます。

2. クリーナ部のある面を手前に向け、クリーナ部が下にくるようにして、右側の切り欠きをオートシートフィーダにかけて取り付けます。

・用紙は 1 枚ずつセットしてください。

プロフェッショナルフォトペーパーに印刷する　2/2

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［プロフォトペーパー］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

1 枚ずつ取り除いてください。

フォト光沢紙に印刷する　1/2

●フォト光沢紙（型番：GP-301）とは

高品位専用紙より厚手で、印刷面に光沢があるため、本格的な写真に近い仕上がりが表現できます。ペーパークラフトなどの制作にも適しています。

●紙間選択レバーの位置

上（　）にセットします。

印刷するときのポイント

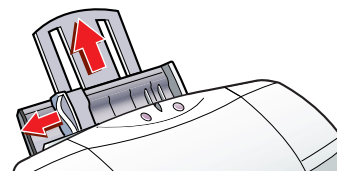
●用紙の扱いかた

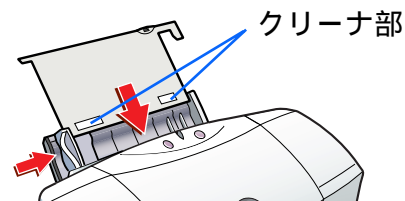
用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（より光沢がある面）を上にしてセットしてください。
・クリーニングプレートをセットした上に用紙をセットしてください。
・クリーニングプレートのセット方法は右のとおりです。

フォト光沢紙のパッケージに付属している給紙補助シートは使用しないでください。

1. 用紙サポートを引き出し、用紙ガイドを広げます。

2. クリーナ部のある面を手前に向け、クリーナ部が下にくるようにして、右側の切り欠きをオートシートフィーダにかけて取り付けます。

フォト光沢紙に印刷する　2 / 2

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［光沢紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

10 枚まで
（写真などを印刷した場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください）

高品位専用紙に印刷する

●高品位専用紙（型番：HR-101S）とは

普通紙よりもカラーの発色性に優れています。
カラーの図版やグラフなどを多用したビジネス文書、写真の印刷に適しています。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（より白い面）を上にしてセットしてください。
・一度にセットできる枚数は、80 枚までです。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［高品位専用紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

50 枚程度まで
(排出された用紙がカールするとき、インクが乾きにくい場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください)

プロフェショナルフォトはがきに印刷する

●プロフェショナルフォトはがき（型番：PH-101）とは

通信面がプロフェショナルフォトペーパーと同じ材質のはがきサイズの専用紙です。
プロフェショナルフォトペーパーと同様、本機では、この用紙に印刷したときに最も高い画質で印刷することができます。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［はがき］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

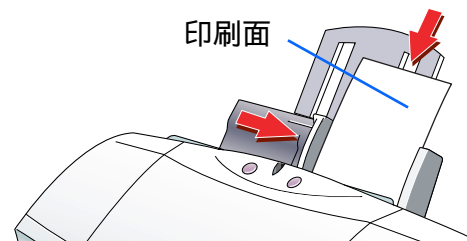
上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●はがきの扱いかた

用紙についてのご注意

●はがきをセットするとき

・印刷面を上にして、必ず縦置きにセットしてください。

・一度にセットできる枚数は、20 枚までです。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

宛名面は［はがき］に、通信面は［プロフォトペーパー］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

20 枚まで
（写真などを印刷した場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください）

フォト光沢ハガキに印刷する

●フォト光沢ハガキ（型番：KH-201N）とは

カラーの発色性に優れたはがきです。
写真やイラストの印刷に適しています。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［はがき］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

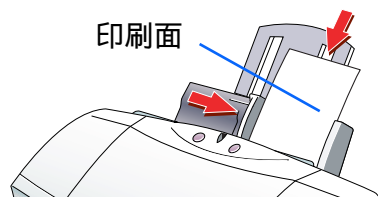
上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●はがきの扱いかた

用紙についてのご注意

●はがきをセットするとき

・印刷面を上にして、必ず縦置きにセットしてください。

・一度にセットできる枚数は、40 枚までです。

note

フォト光沢ハガキの場合、最後の 1 ～ 2 枚がスムーズに給紙されないときは、フォト光沢ハガキの袋に入っている厚紙をフォト光沢ハガキの下にセットしてください。詳細はフォト光沢ハガキの袋に記載の「使用上の注意」をお読みください。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

宛名面は［はがき］に、通信面は［光沢はがき］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

40 枚程度まで
(写真などを印刷した場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください)

プロフェッショナルフォトカードに印刷する

●プロフェッショナルフォトカード（型番：L判 PC-101 L、2L判 PC-101 2L、DSC判 4 面取り PC-101 D、デジカメ六切り判 PC-101 W）とは

プロフェッショナルフォトペーパーと同じ材質のカード専用紙で、サイズが 4 種類あります。ミシン目よりも大きめに印刷範囲を設定すれば、無用な白枠をカットすることが可能です。カードの全面に高画質な写真を印刷したいときにお勧めします。

●原稿を作るとき

付属のアプリケーションソフト「ImageBrowser」を使用して原稿の作成、印刷をしてください。
「ImageBrowser」の使いかたについては、「Image Browser」の取扱説明書をご覧ください。

➡ BJ Solution Disk 操作ガイド

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

印刷前に、ミシン目を切り離さないでください。

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

- カットされた角が左上になるようにセットしてください。
- L判（PC-101L）のプロフェッショナルフォトカードの場合、給紙補助シートを敷いてからセットしてください。給紙補助シートの詳しい使いかたについては、シート上に記載された説明をご覧ください。
  その他のサイズの場合は、クリーニングプレートをセットしてください。
- 用紙は１枚ずつセットしてください。L 判（PC-101L）のみ 20 枚までセットできます。

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

●印刷が終わったら

外側の枠を切り離します。切り離しかたは、プロフェッショナルフォトカードの取扱説明書をご覧ください。

フォト光沢カードに印刷する

●フォト光沢カード（型番：FM-101）とは

フォト光沢紙と同じ材質のカード専用紙です。ミシン目よりも大きめに印刷範囲を設定すれば、無用な白枠をカットすることが可能です。カードの全面に色や写真を印刷したいときにお勧めします。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［フォトカード］に設定してください。

付属のアプリケーションソフト「ImageBrowser」を使用して原稿を作成することもできます。
「ImageBrowser」の使いかたについては、「ImageBrowser」の取扱説明書をご覧ください。

➡ BJ Solution Disk 操作ガイド

●紙間選択レバーの位置

上（　）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

印刷前に、ミシン目を切り離さないでください。

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（Canon ロゴが入っていない面）を上にしてセットしてください。
・フォト光沢カードの下に給紙補助シート（A）を敷いてからセットしてください。給紙補助シート（A）の詳しい使いかたについては、シート上に記載された説明をご覧ください。

フォト光沢カードのパッケージに付属している給紙補助シート（B）は使用しないでください。

・用紙は１枚ずつセットしてください。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［フォトカード］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

●印刷が終わったら

外側の枠を切り離します。切り離しかたは、フォト光沢カードの取扱説明書をご覧ください。

フォト光沢フィルムに印刷する

●フォト光沢フィルム（型番：HG-201）とは

フォト光沢紙よりさらにつやのあるフィルム材質のシートです。
写真を高品質で表現します。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・カットされた角が右上になるようセットしてください。
・用紙は 1 枚ずつセットしてください。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［光沢フィルム］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

1 枚ずつ取り除いてください。

note

- 印刷後、すぐに光沢フィルムを重ねると色合いが変わります。重ねないでください。
- 長期間保管する場合は、印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように、普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。

OHP フィルムに印刷する　1/2

● OHP フィルム（型番：CF-102）とは

オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使用する資料を作成するための専用フィルムです。
他機種用の OHP フィルム（CF-101）や、複写機用の OHP フィルムは、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

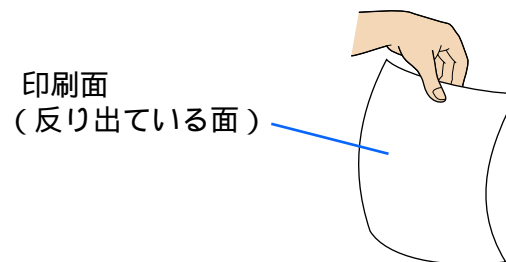
印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

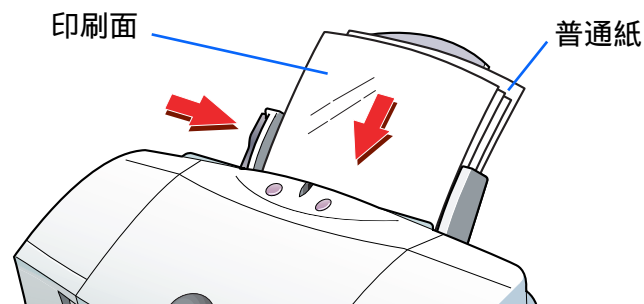
高湿度下では、袋から出したままにしないでください。袋から出したらすぐに印刷するようにしてください。

用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・OHP フィルムの端を手で持ったとき、反りがある面が印刷面になるようにします。

・印刷面を上にしてセットしてください。
・OHPフィルムの下に同じ大きさの普通紙を１枚敷いてから、セットしてください。

・一度にセットできる枚数は、10 枚までです。

OHP フィルムに印刷する　2/2

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［OHP フィルム］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

note

乾燥させた OHP フィルムをしまうときは、印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように、普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。クリアファイルなどに 1 枚ずつ保管する場合でも、クリアファイルに貼り付かないよう、印字した面に普通紙を重ねてください。

T シャツ転写紙に印刷する

●T シャツ転写紙（型番：TR-201）とは

T シャツ用のアイロンプリントを作成できる用紙です。好みの写真やイラストを印刷して転写すれば、オリジナル T シャツが簡単に作れます。
原稿は左右反転されて印刷されます。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（緑の線がない面）を上にしてセットしてください。
・用紙は 1 枚ずつセットしてください。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［T シャツ転写紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

●印刷が終わったら

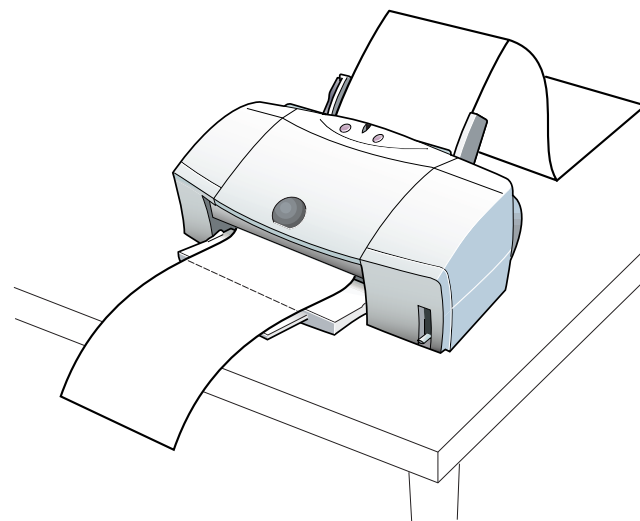
速やかに転写してください。転写のしかたは、T シャツ転写紙の取扱説明書をご覧ください。

バナー紙に印刷する　1/3

●バナー紙（長尺紙）とは

A4 サイズの用紙がつながった長い用紙です。ロングサイズのポスターや垂れ幕（最大 6 ページ分）などの印刷ができます。

●バナー紙をセットする前に

・印刷されたバナー紙が垂れ下がるような位置にプリンタを置いてください。

インクが乾きにくい場合は、印刷面で机や床を汚すことがありますので、ご注意ください。

1. 用紙設定ダイアログで、[バナー紙（長尺紙）印刷] をクリックして選択します。
   用紙サイズに関する設定をする（用紙設定ダイアログ）

2. バナー紙印刷が設定されたことを確認するためのメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

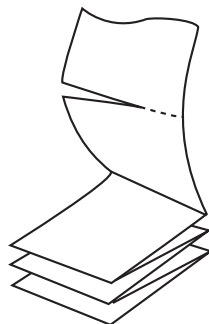
バナー紙に印刷する　*2/3*

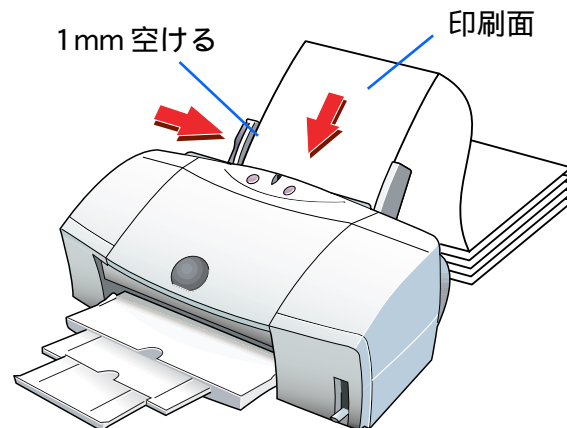
●紙間選択レバーの位置

下（✉）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

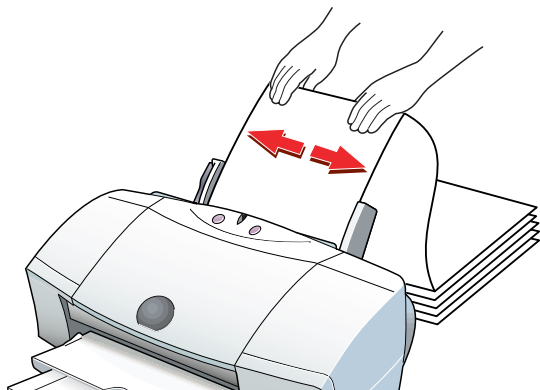
●用紙をセットするとき

・バナー紙を、実際に使用する枚数に 1 枚加えた分だけ切り離します。
一度に使用できるバナー紙の長さは最大 6 枚までです。6 枚分の長さに印刷する場合は、7 枚切り離してください。

・プリンタの用紙サポートは下げてください。

・用紙ガイドを用紙にあわせるときに、用紙ガイドと用紙の端の間に 1mm のすき間が空くようにしてください。

note

セットしたバナー紙の後端は、垂らさずたたんだ状態で置いてください。

バナー紙に印刷する　3 / 3

・１枚目と２枚目の間の折り目を軽く山折りにします。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

［普通紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

印刷が終わるたびに取り除いてください。

厚紙に印刷する

●厚紙の種類

0.6mm を超える厚さの用紙は使用しないでください。
紙づまりの原因になります。

●紙間選択レバーの位置

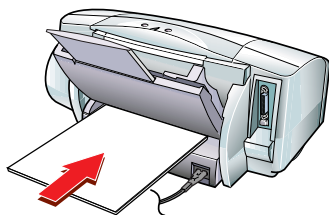
下（✉）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・オートシートフィーダではなく、背面部にある手差し給紙口にセットします。
・印刷面を上にして、手差し給紙口の左側に用紙を沿わせ、用紙が突き当たるところまでまっすぐに差し込んでください。１秒ほどで自動的に用紙が引き込まれます。

・用紙は１枚ずつセットしてください。

●プリントダイアログの［用紙の種類］の設定

「厚紙」に設定します。
給紙方法を変更するメッセージが出たら [OK] をクリックします。

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

給紙方法を変更する

通常、給紙はオートシートフィーダから行いますが、プリンタ背面部の手差し給紙口に用紙をセットして印刷する場合は、プリントダイアログで [給紙方法] の設定を変更する必要があります。

1. **プリントダイアログを開き、[給紙方法] で [手差し] を選択します。**

   note **厚紙に印刷する場合、[用紙の種類] で [厚紙] を選ぶと、自動的に [給紙方法] が [手差し] に変更されます。**

2. **手差し給紙口に用紙をセットします。**

   『基本操作ガイド』

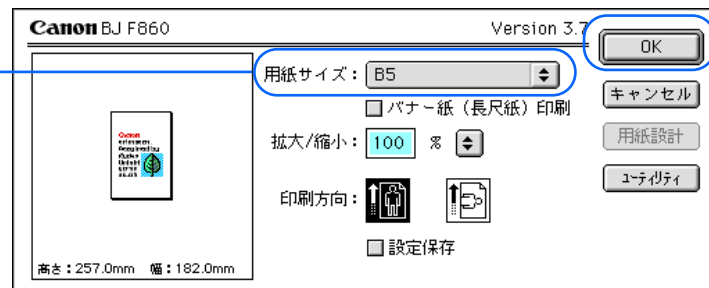
3. **[プリント] をクリックします。**

4. **メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。**

用紙サイズを変更する

デフォルトで設定されている A4 サイズ以外の用紙に印刷する場合は、用紙設定ダイアログで用紙サイズを変更します。

1 用紙設定ダイアログを開き、[用紙サイズ] で変更したいサイズを選択します。

2 設定が終了したら [OK] をクリックします。
・ 用紙設定ダイアログが閉じます。

印刷方向を変更する

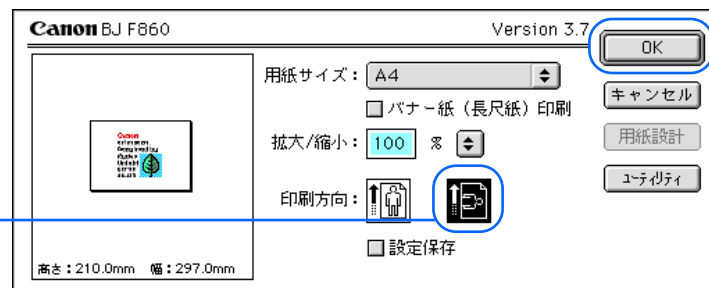
横長にレイアウトした原稿を、縦置きにセットした用紙に印刷するときなどに、印刷方向を変更します。

● [印刷方向] が [ ] のとき

● [印刷方向] が [ ] のとき

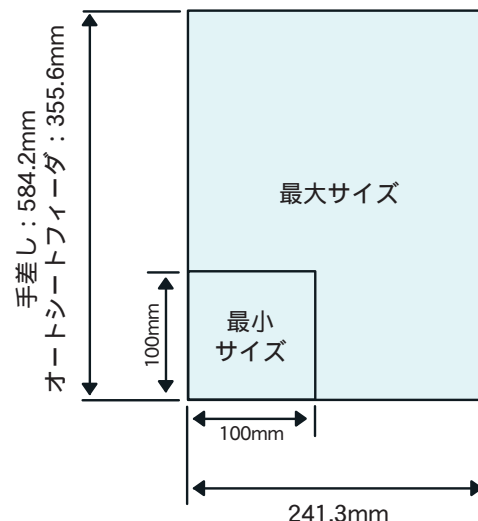
1. 用紙設定ダイアログを開き、[印刷方向] で をクリックします。

2. 設定が終了したら [OK] をクリックします。
   ・ 用紙設定ダイアログが閉じます。

定型外の用紙に印刷する　1 / 2

定型サイズ（A4、A5 といったサイズ）ではない用紙を使用する場合は、用紙の幅と長さを指定して定型外サイズの用紙を設定することもできます。本機で使うことのできる定型外のサイズは、次のとおりです。

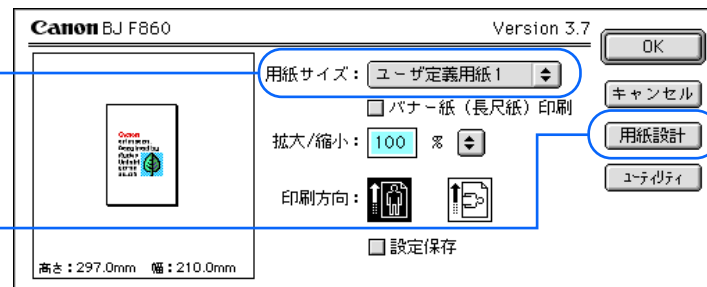
- **用紙をオートシートフィーダにセットする場合**
  幅 100mm ×長さ 100mm ～幅 241.3mm ×長さ 355.6mm

- **用紙を手差し給紙口にセットする場合**
  幅 100mm ×長さ 100mm ～幅 241.3mm ×長さ 584.2mm

●定型外の用紙サイズ

1. 用紙設定ダイアログを開き、[用紙サイズ] で [ユーザ定義用紙（1 ～ 3）] のいずれかを選択します。

2. [用紙設計] をクリックします。
   ・ 用紙設計ダイアログが表示されます。

定型外の用紙に印刷する　2/2

3

[用紙名] と [単位]、[用紙サイズ] の [縦]、[横] の長さの数値を入力します。

4

[登録] をクリックします。

・ 指定した用紙名で用紙サイズが設定され、用紙設定ダイアログに戻ります。

note

ユーザ定義用紙は 1 〜 3 まで登録できます。

印刷する前に、作成した原稿の印刷イメージをプレビュー画面で確認できます。また、印刷データを PICT 形式のファイルで保存することもできます。

●印刷イメージを確認する

1 **プリントダイアログを開き、[オプション] をクリックします。**
・[オプション設定] ダイアログが表示されます。

2 **[出力先] で [プレビュー] を選択し、[OK] をクリックします。**

3 プリントダイアログで［ プレビュー ］をクリックします。

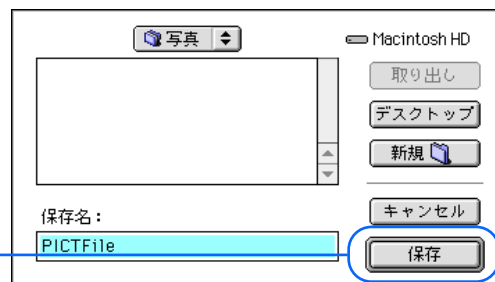
・ プレビュー画面が表示されます。

4 印刷を開始する場合は、［プリント］をクリックします。印刷しないでプレビュー画面を閉じる場合は［ キャンセル ］をクリックします。

●印刷データを PICT ファイルに保存する

1 プリントダイアログを開き、[オプション] をクリックします。
・[オプション設定] ダイアログが表示されます。

2 [出力先] で [PICT ファイル] を選択し、[OK] をクリックします。

3
プリントダイアログで［ファイル］をクリックします。
Canon BJ F860
Version 3.7
ファイル
キャンセル
部数：
ページ：
全ページ
から
BJカートリッジ：
フォト
印刷設定：
用紙の種類：
普通紙
詳細設定
現在の設定：文書
給紙方法：
オートシートフィーダ
オプション
設定登録
グレースケール印刷
写真
Macintosh HD
取り出し
デスクトップ
新規
キャンセル
保存名：
PICTFile
保存
4
ファイルの［保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

拡大／縮小して印刷する　1 / 2

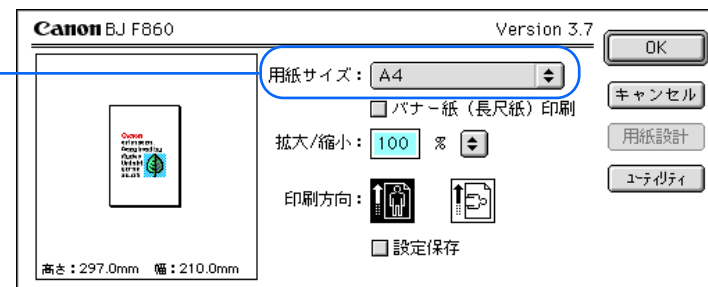
作成した原稿を拡大または縮小して印刷することができます。

●拡大して印刷

●縮小して印刷

1 用紙設定ダイアログを開き、[用紙サイズ] でプリンタにセットする用紙のサイズを選択します。

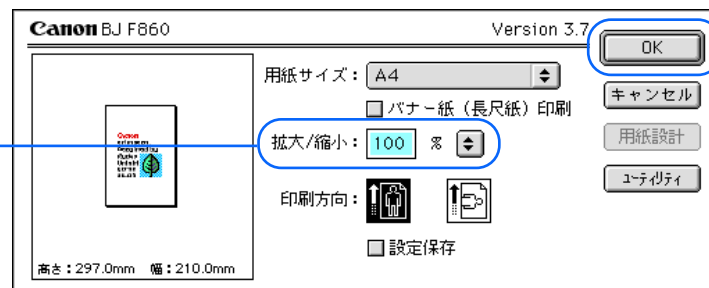
拡大／縮小して印刷する　2/2

2

[拡大／縮小] の入力欄に倍率を入力するか、 をクリックして表示されるポップアップメニューから、原稿のサイズと印刷する用紙サイズの組み合わせを選びます。

3

[OK] をクリックします。
・ 用紙設定ダイアログが閉じます。

4

印刷を開始する場合は、プリントダイアログで [プリント] をクリックします。

note

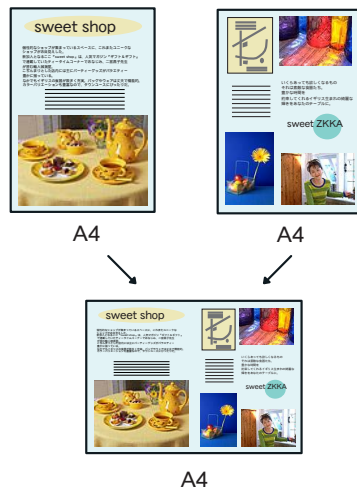
拡大／縮小印刷を通常の印刷に戻すときは、[拡大／縮小] で 100%倍率を選択するか、「100」と入力してください。

数ページ分を１枚の用紙に印刷する　1/2

**２ページ分、または４ページ分の原稿を縮小して１枚の用紙に納まるように印刷することができます。
用紙の節約だけでなく、見開きのレイアウトにしたいときや、袋とじにするときにも便利です。**

● 2 ページを 1 枚の用紙に印刷

1 **プリントダイアログを開き、[オプション] をクリックします。**
・[オプション設定] ダイアログが表示されます。

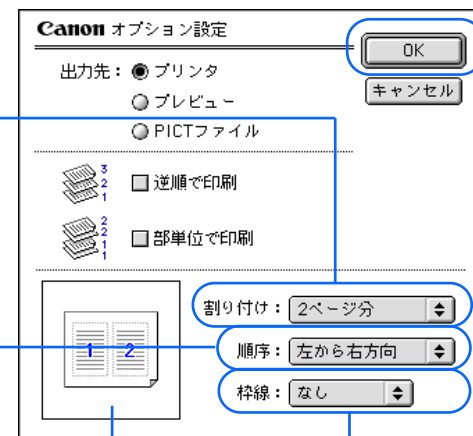
数ページ分を１枚の用紙に印刷する　2/2

2 [割り付け] で、1 枚の用紙に何ページ分印刷するかを選択します。
・ プレビュー画面で印刷イメージを確認できます。

3 [順序] で、用紙に対してどのような順序でページを割り付けるかを選択します。

プレビュー画面

4 ページの周りに枠をつけて印刷したいときは、[枠線] で、[細線] または [太線] を選びます。

5 [OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。

6 印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

note

通常の印刷に戻すときは、[割り付け] で [1 ページ分] を選択してください。

印刷するページの順番を変える　1/2

最終ページから印刷するよう、印刷する順番を変えることができます。また、複数の部数を部単位でまとめて印刷することもできます。
ページ数が多い文書を何部かまとめて印刷するときは、これらを組み合わせて設定すると、用紙を並び替える手間がなくなり便利です。

●通常

3 3 2 2 1 1

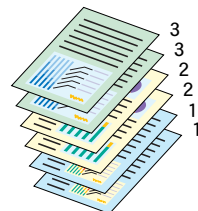
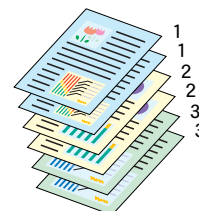
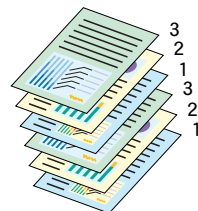
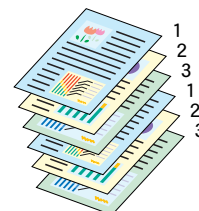
●逆順

1 1 2 2 3 3

●部単位

3 2 1 3 2 1

●逆順で部単位

1 2 3 1 2 3

1 プリントダイアログを開き、[部数] に印刷する部数を入力します。

2 [オプション] をクリックします。
・[オプション設定] ダイアログが表示されます。

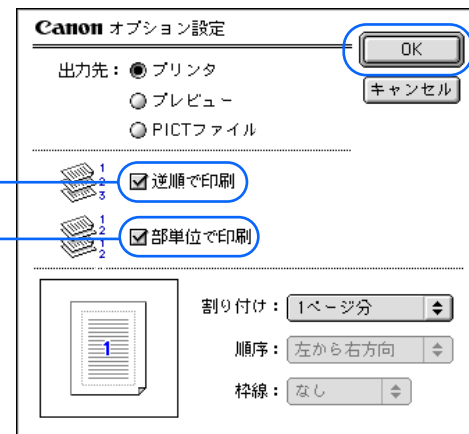
Canon BJ F860　Version 3.7
部数：1　ページ：全ページ　から
BJカートリッジ：フォト
用紙の種類：普通紙
給紙方法：オートシートフィーダ
グレースケール印刷
印刷設定：
現在の設定：文書
印刷品位：標準（速度優先）
ディザリング：誤差拡散
色補正：BJ標準
プリント
キャンセル
詳細設定
オプション
設定登録

印刷するページの順番を変える　2/2

3 最終ページから印刷する場合は、[逆順で印刷] にチェックマークを付けます。

4 1 部ずつまとまるように印刷する場合は、[部単位で印刷] にチェックマークを付けます。

5 [OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。

6 印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

note

通常の印刷に戻すときは、[逆順で印刷] と [部単位で印刷] のチェックマークを外してください。

印刷品位を変更する *1 / 2*

画質を優先するか、印刷速度を優先するかなど、目的にあった印刷の品質を選択することができます。印刷結果に満足できなかった場合も、ここで調整します。

1. プリントダイアログを開き、[印刷設定] でマニュアルアイコン（ ）をクリックします。

2. [詳細設定] をクリックします。
   ・[詳細設定] ダイアログが表示されます。

3. [クオリティ] アイコンをクリックしてクオリティパネルを表示します。

印刷品位を変更する　2 / 2

4

[印刷品位] で、スライドバーを移動させて印刷の品質を選択します。

印刷の品質を上げたい場合は右に、品質よりもスピードを優先させたい場合は左に移動させます。
一番右に設定すると、印刷に時間がかかる旨のメッセージが表示されます。通常は右から二番目の設定で十分な印刷結果が得られます。

5

[OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。

6

印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

note

・[ディザリング] の設定によっては、選択できない印刷品位があります。最高の品質で印刷する場合は、[ディザリング] で [誤差拡散] を選択してください。
・選択している用紙の種類などによっては、選択できない印刷品位があります。その場合は、選択可能な範囲で調整してください。
・パネル内の設定を初期設定に戻したい場合は、[標準に戻す] をクリックしてください。

中間色の表現方法（ディザリング）を変更する　1/2

吹き付けたインクの点（ドット）の配置のしかたを変えることで、ハーフトーン（中間調）の表現方法を変更することができます。

1 プリントダイアログを開き、［ 印刷設定 ］でマニュアルアイコン（ ）をクリックします。

2 ［ 詳細設定 ］をクリックします。
・［ 詳細設定 ］ダイアログが表示されます。

3 ［ クオリティ ］アイコンをクリックしてクオリティパネルを表示します。

中間色の表現方法（ディザリング）を変更する　2/2

4

[ディザリング]で、どちらかのアイコンを選択します。

[パターン] は、異なる色のドットを一定の法則にしたがって並べます。色の境界をくっきり見せたいグラフィックスやグラフを印刷するのに適しています。
[誤差拡散] は、異なる色のドットをランダムに配置します。微妙なグラデーションを作り出せるため、写真などの自然画像を印刷するのに適しています。

5

[OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。

6

印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

note

・[印刷品位] の設定によっては、選択できない [ディザリング] があります。その場合は、[印刷品位] との組み合わせで可能な範囲の調整をしてください。
・パネル内の設定を初期設定に戻したい場合は、[標準に戻す] をクリックしてください。

写真の色合いを補正する（オートフォトパーフェクト） 1/2

スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像の色合いと明るさを自動的に補正して印刷することができます。色かぶりや露出オーバー、露出アンダーが原因で色合いが悪くなってしまった画像に効果的です。

1. **プリントダイアログを開き、［ 印刷設定 ］でマニュアルアイコン（ ）をクリックします。**

2. **［ 詳細設定 ］をクリックします。**
   ・［ 詳細設定 ］ダイアログが表示されます。

3. **［ クオリティ ］アイコンをクリックしてクオリティパネルを表示します。**

写真の色合いを補正する（オートフォトパーフェクト） 2/2

4
[オートフォトパーフェクト] にチェックマークを付けます。

ページ内に複数の画像がある場合、通常はひとつひとつの状況に応じて補正されます。
[ページ内一括] にチェックマークを付けると、ページ内にある複数の画像を一括で補正します。切り抜きや回転など、加工した画像データが含まれている場合には、[ページ内一括] にもチェックマークを付けることをお勧めします。

5
[OK] をクリックします。
・プリントダイアログに戻ります。

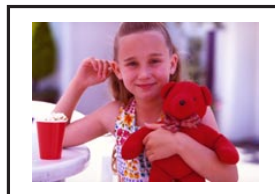
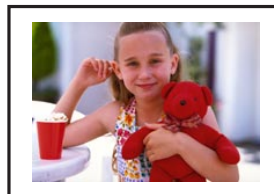
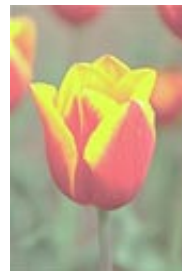
6
印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

note

・用紙設定ダイアログで [バナー紙（長尺紙）印刷] を選択しているときは、[オートフォトパーフェクト] を選択することはできません。
・パネル内の設定を初期設定に戻したい場合は、[標準に戻す] をクリックしてください。

全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する　*1 / 3*

印刷結果の色合いを希望の色に近づけたいときは、色や濃度を調整することができます。

●色補正前

●色補正後

●濃度を薄くした場合

●通常

●濃度を濃くした場合

1. プリントダイアログを開き、［ 印刷設定 ］でマニュアルアイコン（ ）をクリックします。

2. ［ 詳細設定 ］をクリックします。
   - ・［ 詳細設定 ］ダイアログが表示されます。

全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する　2 / 3

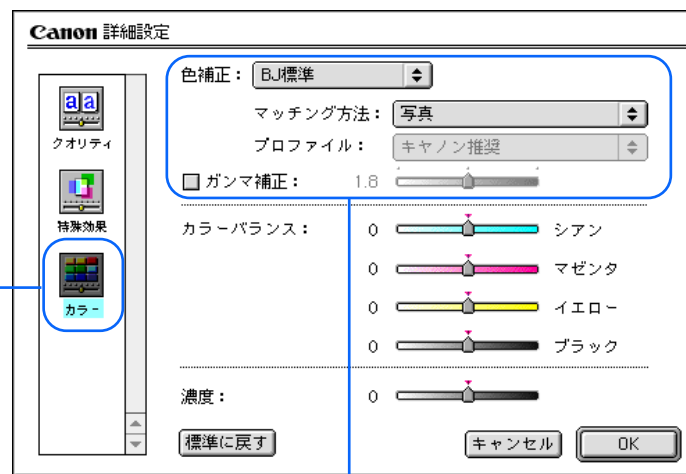
3
[カラー] アイコンをクリックして、カラーパネルを表示します。

4
色の状態に合わせて、[色補正]、[マッチング方法]、[プロファイル]、[ガンマ補正] を調整します。

[色補正]
通常は BJ プリンタで印刷するのに最適な [BJ 標準] を選択してください。ColorSync による色補正を行うときには [ColorSync] を、色補正をしないときには [なし] を選択します。

[マッチング方法]
中間色を重視して印刷したい場合は [写真] を、原色を鮮やかに印刷したい場合は [グラフィックス]、基本色を多く使った文書を印刷する場合は [スポットカラー] を選択してください。

[プロファイル]
用紙の種類などにあわせて使用される色特性（プロファイル）を選択します。通常は、[キヤノン推奨] で印刷してください。

[ガンマ補正]
色のコントラスト（完全な白と黒を除く）を調整します。ガンマ補正にチェックマークを付け、スライドバーをドラッグしてください。右にするほど全体は暗くなり、明るい部分のコントラストは強く、暗い部分のコントラストは弱くなります。

note

[色補正] が [なし] のときは、[マッチング方法]、[プロファイル]、[ガンマ補正] は選択できません。

全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する　3/3

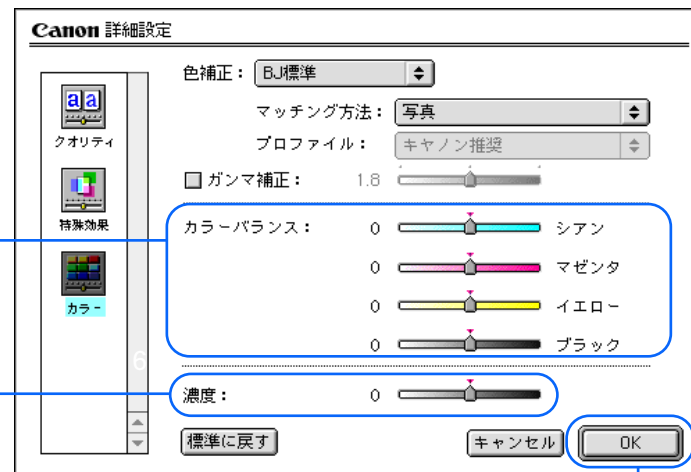
5 [カラーバランス] を調整します。

色の濃淡のバランスを各色ごとのスライドバーをドラッグして調整します。右にするほど濃く、左にするほど薄くなります。
[グレースケール印刷] を選択しているときは、この機能は使えません。

6 [濃度] を調整します。

印刷の濃度をスライドバーをドラッグして調整します。右にするほど濃く、左にするほど薄くなります。

7 [OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。

8 印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

note

パネル内の設定を初期設定に戻したい場合は、[標準に戻す] をクリックしてください。

イラストタッチで印刷する　1/2

画像データをイラストのような風合いに加工して印刷することができます。

1. プリントダイアログを開き、［ 印刷設定 ］でマニュアルアイコン（ ）をクリックします。

2. ［ 詳細設定 ］をクリックします。
   ・［ 詳細設定 ］ダイアログが表示されます。

3. ［ 特殊効果 ］アイコンをクリックして特殊効果パネルを表示します。

4 [イラストタッチ] にチェックマークを付けます。
画像の明るさを調整したい場合は、[明るさ] のスライドバーを左右に移動させます。
・ 画像データの変化がプレビュー画面で確認できます。

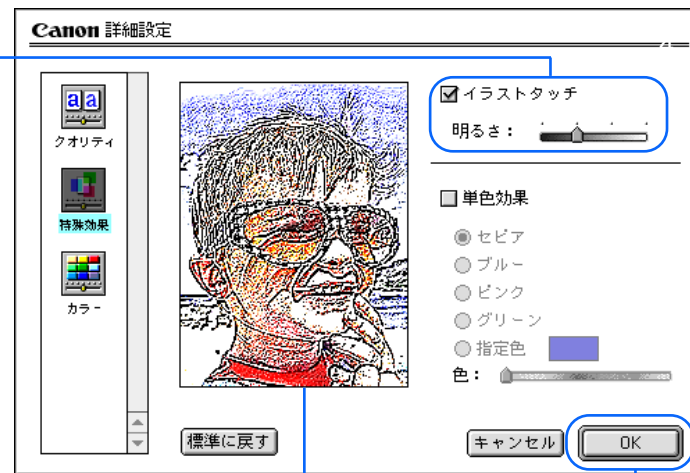
5 [OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。

6 印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

プレビュー画面

note

・[単色効果] と組み合わせて設定することができます。
・パネル内の設定を初期設定に戻したい場合は、[標準に戻す] をクリックしてください。

カラー原稿を単色で印刷する　*1 / 2*

画像データを単一の色で印刷することができます。

1. プリントダイアログを開き、［ 印刷設定 ］でマニュアルアイコン（ ）をクリックします。

2. ［ 詳細設定 ］をクリックします。
・［ 詳細設定 ］ダイアログが表示されます。

3. ［ 特殊効果 ］アイコンをクリックして特殊効果パネルを表示します。

カラー原稿を単色で印刷する　2/2

4
[単色効果] にチェックマークを付け、[セピア]、[ブルー]、[ピンク]、[グリーン]、[指定色] から、好みの色をクリックします。
[指定色] を選択した場合は、[色] のスライドバーを移動させ、好みの色を選択してください。
・ 画像データの変化がプレビュー画面で確認できます。

5
[OK] をクリックします。
・ プリントダイアログに戻ります。

6
印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

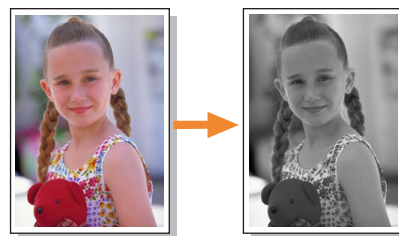
プレビュー画面

note

・[イラストタッチ] と組み合わせて設定することができます。
・用紙設定ダイアログで [グレースケール印刷] を選択しているときは、設定できません。
・パネル内の設定を初期設定に戻したい場合は、[標準に戻す] をクリックしてください。

カラー原稿をグレースケールで印刷する

カラーの画面をグレースケールで印刷することができます。カラー原稿の各カラーは、グレーに変換され、明るい色ほど白に、暗い色ほど黒に近くなります。

●カラー原稿をグレーで印刷

1 プリントダイアログを開き、[グレースケール印刷] にチェックマークを付けます。

2 印刷を開始する場合は、[プリント]をクリックします。

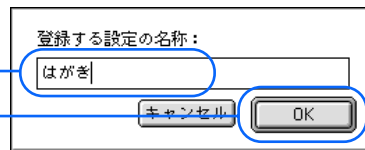
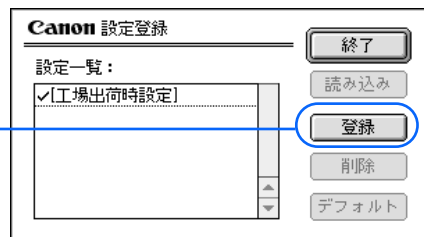
好みの設定を登録する

**マニュアルアイコン（ ）を使って設定した内容を登録することができます。
登録した印刷設定をデフォルトの設定にすることもできます。**

1. プリントダイアログで、［ 設定登録 ］をクリックします。
   - 設定登録ダイアログが表示されます。

2. ［ 登録 ］をクリックします。
   - 設定名称を入力するダイアログが表示されます。

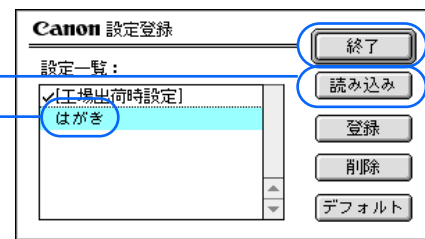
3. 設定名称を入力し、［ＯＫ］をクリックします。
   - 設定登録ダイアログに戻ります。

     登録した印刷設定をデフォルトの設定（プリントダイアログを開いたときに常に選択されている状態）にしたいときは、設定登録ダイアログで設定名称を選択し、［ デフォルト ］をクリックします。
     名称の前にチェックマークが付きます。

4. ［ 終了 ］をクリックします。
   - プリントダイアログに戻ります。

登録した設定を読み込む

登録した印刷設定を読み込んで、プリントダイアログの設定として使用します。

1. **プリントダイアログを開き、[設定登録] をクリックします。**
   ・ 設定登録ダイアログが表示されます。

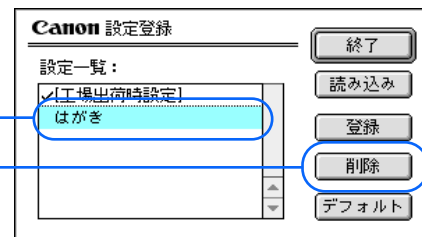
2. **読み込みたい設定名称をクリックし、[読み込み] をクリックします。**

3. **[終了] をクリックします。**
   ・ プリントダイアログに戻ります。

note

はじめてプリントダイアログを開いたときの、何も変更を加えていない設定は [工場出荷時設定] としてあらかじめ登録されています。

登録した設定を削除する

登録した印刷設定を削除することができます。

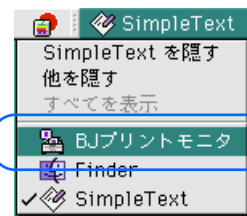
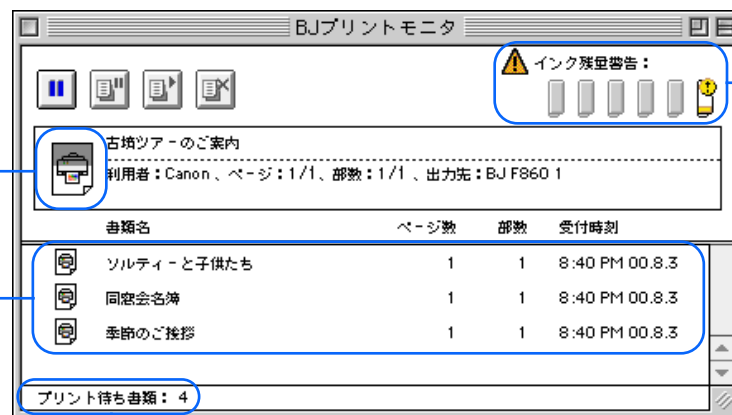
1. [設定登録] をクリックします。
   - 設定登録ダイアログが表示されます。
2. 削除したい設定名称をクリックし、[削除] をクリックします。
3. 確認のメッセージが表示されたら [OK] をクリックします。
   - 選択した印刷設定の名称が [設定一覧] から削除されます。
4. [終了] をクリックします。
   - プリントダイアログに戻ります。

note

[工場出荷時設定] は削除できません。

印刷中に別の作業を平行して行える印刷処理の方法をバックグラウンド印刷といいます。
バックグラウンド印刷を実行するには、セレクタで［バックグラウンドプリント］をオンに設定します。

プリンタを選択する

この設定にしておくと、印刷を実行したときに BJ プリントモニタを開いて、印刷の状況を確認したり、印刷を中止したりできます。

1. **印刷中に、アプリケーションメニューから［BJ プリントモニタ］を選択します。**
   - BJ プリントモニタが表示されます。

BJ プリントモニタを開く　2/2

インクが残り少なくなっているインクタンクには ⓘ アイコンが付いて表示されます。
インクタンクにインクが充分あるときには、何も表示されません。

note

BJ プリントモニタを閉じるには、左上のクローズボックスをクリックするか、［ファイル］メニューから［ステータスウインドウを閉じる］を選びます。

印刷を中止する / 一時停止する

BJ プリントモニタを使って、印刷中や印刷待ちの文書を中止したり、一時停止することができます。

1 BJ プリントモニタを開いて、以下の操作をします。

BJ プリントモニタを開く

・現在の印刷を一時停止する

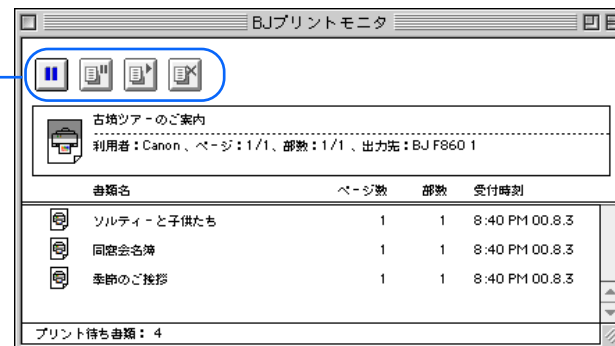
アイコンをクリックします。

印刷を再開するときには アイコンをクリックします。

・指定した文書の印刷を一時停止する

印刷を一時停止したい文書を下の一覧から選び、アイコンをクリックします。印刷を再開するときには アイコンをクリックします。

・印刷を中止する

印刷を中止したい文書を下の一覧から選び、アイコンをクリックします。

note

印刷中にプリンタのリセットボタンを押して、印刷を中止することもできます。

印刷を中止したいときには

印刷の順番を変える

BJ プリントモニタを使って、印刷待ちの文書の順番を変えることができます。

1 BJ プリントモニタを開いて、順番を変えたい文書をクリックし、移動したいところにドラッグ & ドロップします。

BJ プリントモニタを開く

・ 印刷待ちの書類の順番が変わります。

BJ プリントモニタの初期設定を変更する　1 / 2

バックグラウンド印刷中に自動的に BJ プリントモニタを表示するなど、BJ プリントモニタの初期設定を変更することができます。初期設定変更の操作は、印刷中に BJ プリントモニタを開いて行います。

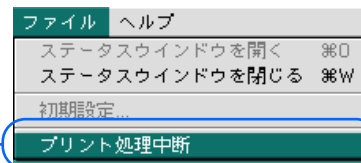
1

BJ プリントモニタを開き、[ファイル] メニューから [プリント処理中断] を選択します。

BJ プリントモニタを開く

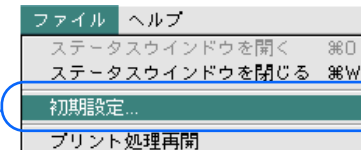
- **処理が中断します。**

ファイル　ヘルプ
ステータスウインドウを開く　⌘O
ステータスウインドウを閉じる　⌘W
初期設定...
プリント処理中断

2

[ファイル] メニューから [初期設定] を選択します。

- **[初期設定」ダイアログボックスが表示されます。**

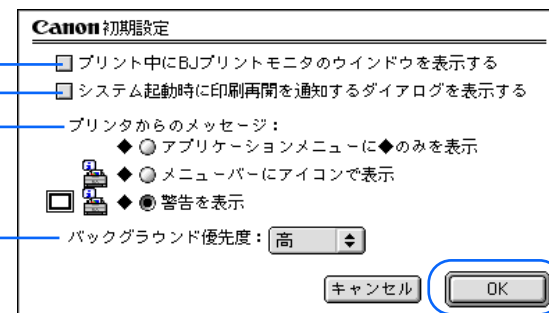
ファイル　ヘルプ
ステータスウインドウを開く　⌘O
ステータスウインドウを閉じる　⌘W
初期設定...
プリント処理再開

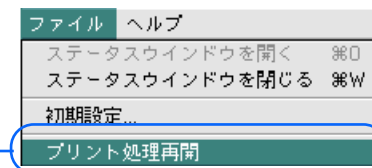
BJ プリントモニタの初期設定を変更する　2 / 2

3 設定を変更し、[OK] をクリックします。

・BJ プリントモニタの表示方法
設定するときは、チェックマークを付けます。

・システム起動時の印刷再開通知の設定
設定するときは、チェックマークを付けます。

・印刷中に問題が起こったときの通知方法
クリックして選択します。

・他の処理に対する印刷の優先度
[高]、[中]、[低] のいずれかを選択します。

4 [ファイル] メニューから [プリント処理再開] を選択して、印刷を再開します。

プリントヘッドをクリーニングする　1/2

ノズルチェックパターンを印刷してパターンが欠けているときには、プリントヘッドのノズルの目づまりが考えられます。その場合は、プリントヘッドのクリーニングを行います。

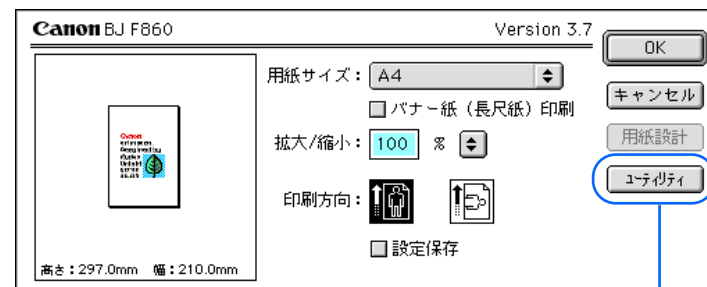
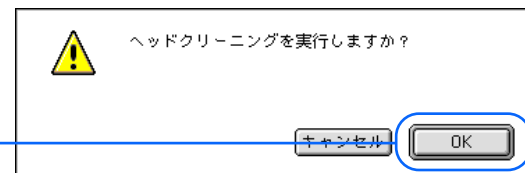
・クリーニングはインクを消費します。不必要なクリーニングは避けてください。

note

クリーニングを行うタイミングについては『基本操作ガイド』の「プリントヘッドをメンテナンスする」をご覧ください。

1 **用紙設定ダイアログを表示し、[ユーティリティ] をクリックします。**

用紙サイズに関する設定をする（用紙設定ダイアログ）

2 **（ヘッドクリーニング）をクリックします。**

3
メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。
- クリーニングが始まり、ランプが点滅します。
  クリーニングが終了するまでに 30 秒ほどかかります。ランプが点灯に変わるまで、しばらくお待ちください。

4
ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングの効果を確認します。
➡ ノズルチェックパターンを印刷する

note

・プリンタのリセットボタンを使ってクリーニングをすることもできます。
　リセットボタンを押し続け、ランプが 1 回点滅したときにボタンを離してください。
・クリーニングの効果がない場合は、インクタンクにインクが残っているかを直接確認してください。
　インクがない場合
　　インクタンクを交換してください。
　インクが残っている場合
　　プリントヘッドのクリーニングとノズルチェックパターンの印刷をくり返してみてください。クリーニングを 5 回くり返しても正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのリフレッシングを実行してみてください。
　　➡ プリントヘッドをリフレッシングする

プリントヘッドをリフレッシングする　1/2

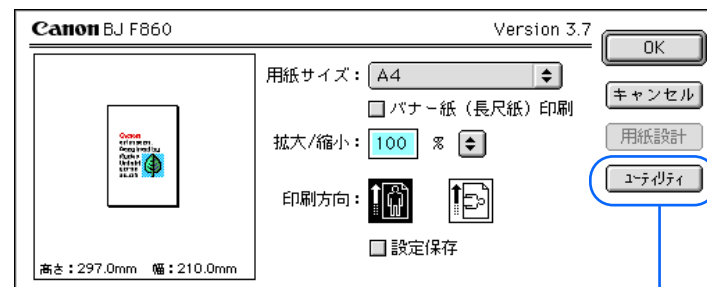
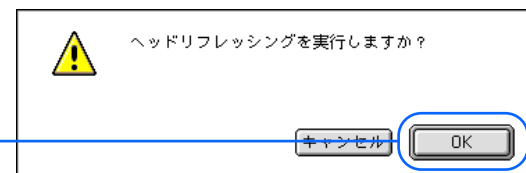
インクは残っているのに、プリントヘッドのクリーニングを 5 回くり返しても印刷がかすれるときは、プリントヘッドをリフレッシングしてみましょう。

禁止　・ヘッドリフレッシングはインクを消費します。不必要なヘッドリフレッシングは避けてください。

1 用紙設定ダイアログを表示し、[ユーティリティ] をクリックします。

用紙サイズに関する設定をする（用紙設定ダイアログ）

2 （ヘッドリフレッシング）をクリックします。

プリントヘッドをリフレッシングする　2/2

3 メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。
・ ヘッドリフレッシングが始まり、ランプが点滅します。ヘッドリフレッシングが終了するまでに 1 分ほどかかります。ランプが点灯に変わるまで、しばらくお待ちください。

4 ノズルチェックパターンを印刷し、リフレッシングの効果を確認します。
ノズルチェックパターンを印刷する

note

プリントヘッドのリフレッシングをしてもノズルチェックパターンの印刷がかすれる場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口にご相談ください。
『ご相談窓口のご案内』

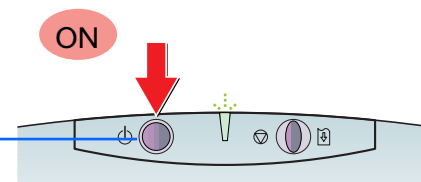
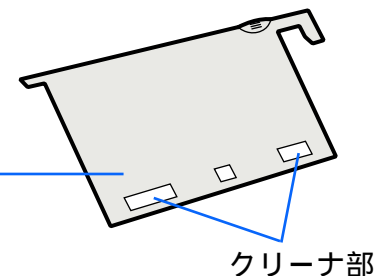
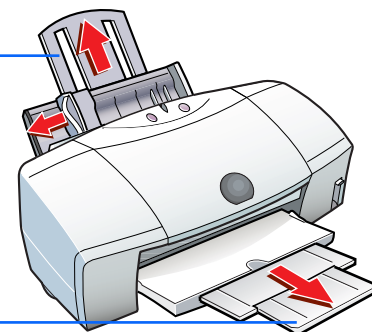
給紙ローラを清掃する　1 / 5

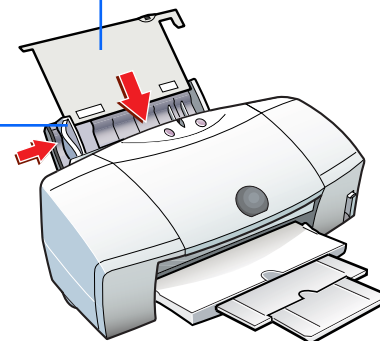
表面に特殊加工をした用紙やはがきなどを頻繁に使用すると、プリンタ内に紙粉がたまり、給紙ローラが汚れて用紙が正しく送られなかったり、用紙にローラの跡がつくことがあります。このような場合は、付属のクリーニングプレートを使って、給紙ローラを清掃しておきましょう。

・準備するもの
　クリーニングプレート、普通紙２ 枚

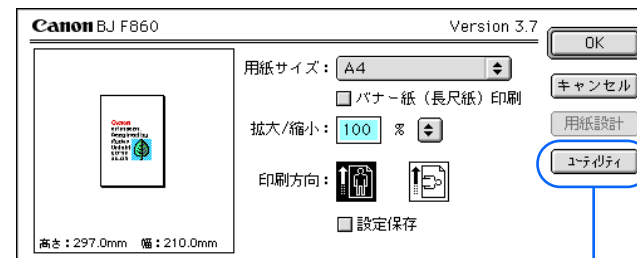
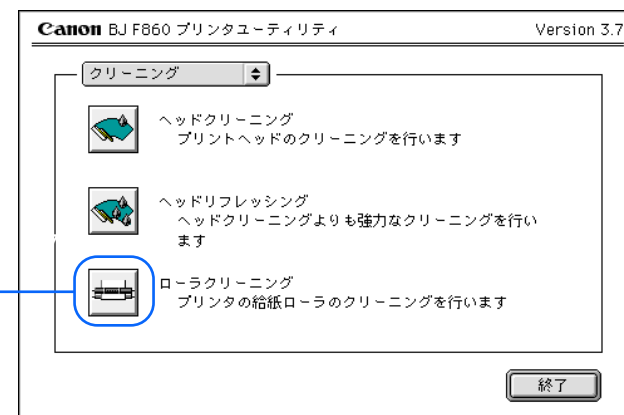
1 クリーニングプレートのクリーナ部に水を十分含ませます。
・ クリーナ部以外の部分に水分がついた場合は、クリーニングプレートの表面、裏面ともによく拭き取ってください。

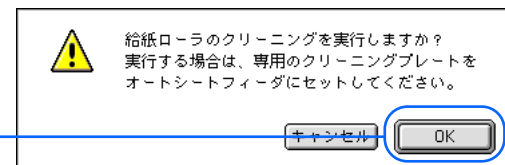
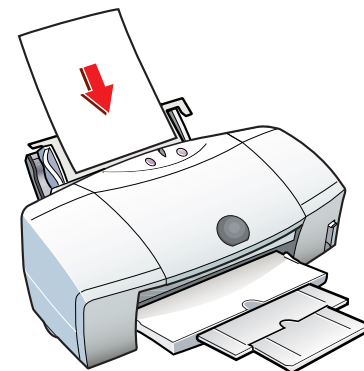
2 プリンタの電源を入れます。
『基本操作ガイド』

給紙ローラを清掃する 2/5

3 プリンタの用紙サポート、排紙トレイを引き出し、用紙ガイドを広げます。

4 クリーナ部のある面を手前に向け、クリーナ部が下になるようにして、右側の切り欠きをオートシートフィーダにかけて取り付けます。

5 用紙ガイドをクリーニングプレートの左側に軽く当てます。

給紙ローラを清掃する　3/5

6 用紙設定ダイアログを表示し、[ユーティリティ] をクリックします。

用紙サイズに関する設定をする（用紙設定ダイアログ）

7 （ローラクリーニング）をクリックします。

8 メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。
- 給紙ローラのクリーニングが始まり、ランプが点滅します。クリーニングが終了するまでに 1 分ほどかかります。ランプが点灯に変わるまで、しばらくお待ちください。

給紙ローラを清掃する 4/5

9 メッセージが表示されたら、クリーニングプレートをセットしたままオートシートフィーダに普通紙を 1 枚セットし、[OK] をクリックします。
- 給紙ローラに付いている水分を取り除くために、普通紙がオートシートフィーダの中に送られ、排出されます。

給紙ローラを清掃する　5/5

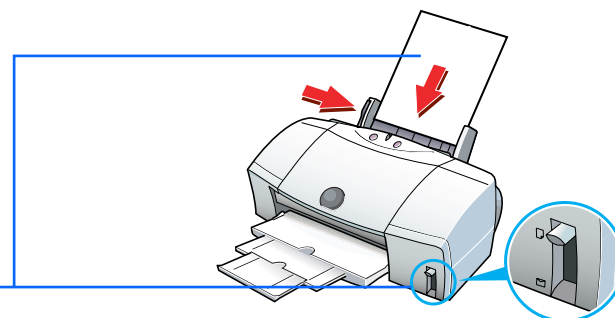
10 メッセージが表示されたら、クリーニングプレートをセットしたまま、もう 1 枚の普通紙をオートシートフィーダにセットし、[OK] をクリックします。

・ 給紙ローラに残っている水分を取り除くために、普通紙がオートシートフィーダの中に送られ、排出されます。

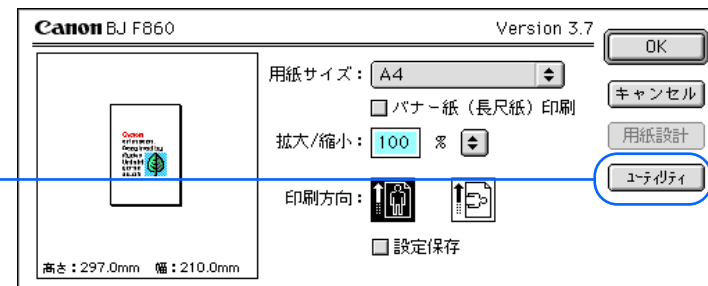
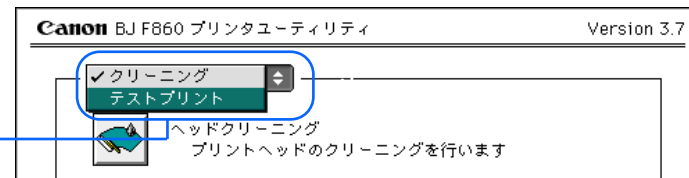
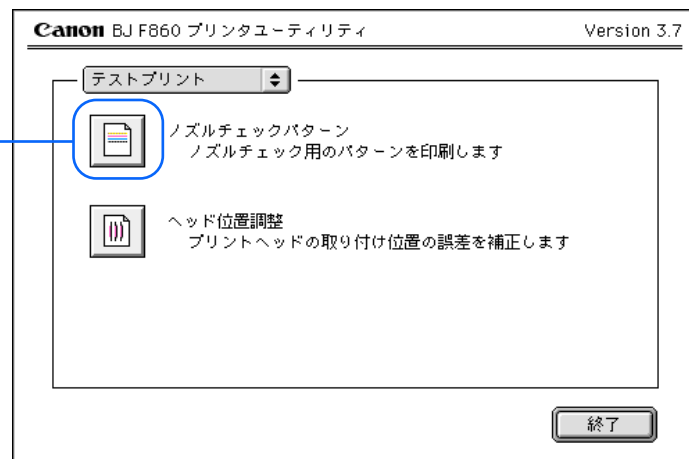
11 クリーニングプレートを取り外し、クリーナ部の水分を拭き取って大切に保管してください。

ノズルチェックパターンを印刷する　*1/3*

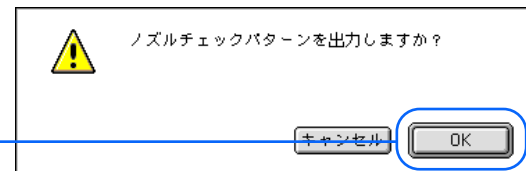
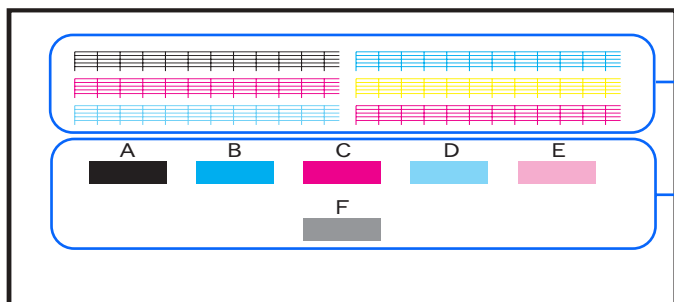
かすれて印刷されたり、色合いがおかしいときは、まずノズルチェックパターン（テストパターン）を印刷して、次の 2 点を確認しましょう。

・プリントヘッドのノズル（噴き出し口）から、正しく各色のインクが出ているか
・プリントヘッドの位置にずれがないか

1　プリンタの電源が入っていることを確認して、紙間選択レバーを □（上）にセットし、A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。

2　用紙設定ダイアログを表示し、[ユーティリティ] をクリックします。

➡ 用紙サイズに関する設定をする（用紙設定ダイアログ）

ノズルチェックパターンを印刷する　2/3

4 （ノズルチェックパターン）をクリックします。

note

ノズルチェックパターンは、プリンタのリセットボタンを使って印刷することもできます。リセットボタンを押し続け、ランプが 2 回点滅したときにボタンを離してください。

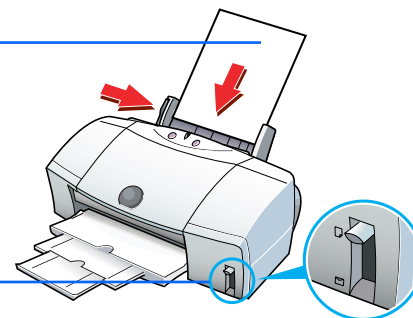
5 メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。

6 印刷されたノズルチェックパターンを見て、各色のノズルの状態を確認します。

① のパターンがかけているときは、プリントヘッドのクリーニングが必要です。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

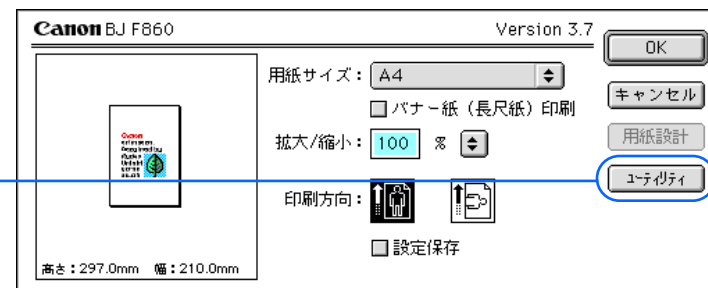
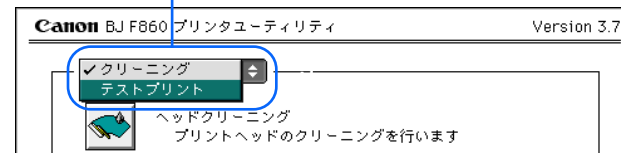
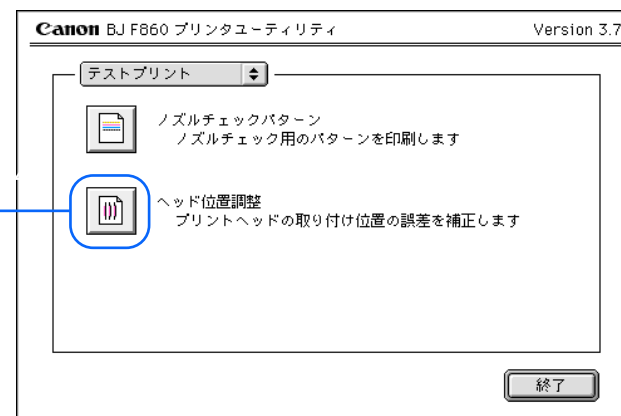
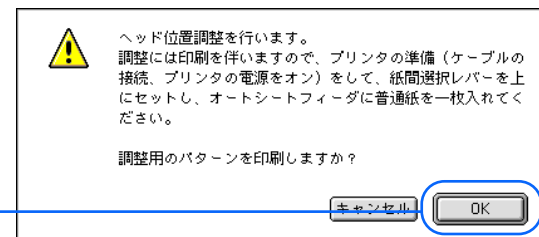
②は現在のヘッド位置調整の状況を確認するパターンです。
パターンに縦の白すじが目立つときは、プリントヘッドの位置調整が必要です。

➡ プリントヘッドの位置を調整する

プリントヘッドの位置を調整する　*1/4*

写真を印刷した結果にすじが出たり、ざらつき感があったり、均一感が十分出ていないときは、次の手順でヘッド位置調整パターンを印刷し、プリントヘッドの位置を調整してください。プリントヘッドの位置がずれていると、きれいに印刷することができません。

1 **プリンタの電源が入っていることを確認して、紙間選択レバーを □（上）にセットし、A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。**

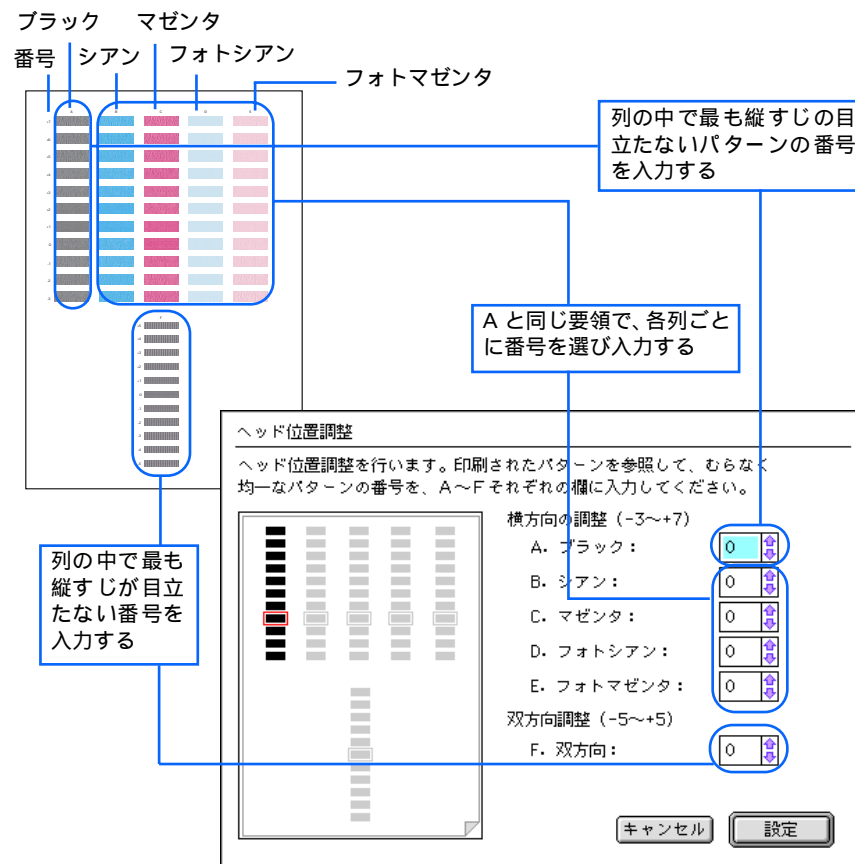
2 **用紙設定ダイアログを表示し、[ユーティリティ] をクリックします。**

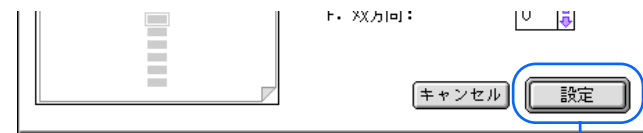
➡ 用紙サイズに関する設定をする（用紙設定ダイアログ）

3
をクリックし、[テストプリント] を選びます。
Canon BJ F860 プリンタユーティリティ Version 3.7
✓クリーニング
テストプリント
ヘッドクリーニング
プリントヘッドのクリーニングを行います
Canon BJ F860 プリンタユーティリティ Version 3.7
テストプリント
ノズルチェックパターン
ノズルチェック用のパターンを印刷します
4
（ヘッド位置調整）をクリックします。
ヘッド位置調整
プリントヘッドの取り付け位置の誤差を補正します
終了
ヘッド位置調整を行います。
調整には印刷を伴いますので、プリンタの準備（ケーブルの接続、プリンタの電源をオン）をして、紙間選択レバーを上にセットし、オートシートフィーダに普通紙を一枚入れてください。
調整用のパターンを印刷しますか？
キャンセル
OK
5
メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。
・ ヘッド位置調整パターンの印刷が始まります。

プリントヘッドの位置を調整する　3/4

6 印刷されたプリントヘッド位置調整パターンを見ながら、番号を入力します。

- **「横方向の調整」**
  −3 ～ +7 のうち、最も縦すじの目立たないパターンの番号を選び、A ～ E に入力します。

- **「双方向調整」**
  −5 ～ +5 のうち、最も縦すじの目立たないパターンの番号を選び、F に入力します。

note

・番号入力で困ったときは次のようにしてください。
A（ブラック）、B（シアン）、C（マゼンタ）の場合
　→ 大きい方の番号を入力
D（フォトシアン）の場合
　→ A（ブラック）と同じ番号を入力
E（フォトマゼンタ）の場合
　→ B（シアン）と同じ番号を入力
F（双方向）の場合
　→小さい方の番号を入力

7 [設定] をクリックします。
・ プリントヘッドの位置調整が終ります。

8 [終了] をクリックします。

インクタンクを交換する　1/3

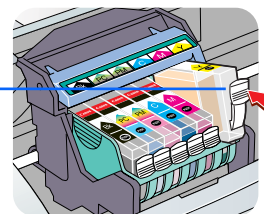
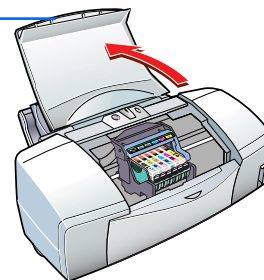
インクがなくなったときは、次の手順で新しいインクタンクに交換しましょう。

・複数のインクタンクを交換する場合は、必ず 1 つずつ交換してください。取り付ける場所を間違えると、プリントヘッドの中で混色して正しく印刷できなくなります。万が一間違えた場合には、インクタンクを正しく取り付け直してから、プリントヘッドのクリーニングを何回か行ってください。

・インクタンクのインク出口には手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

animation

1 プリンタの電源を入れ、フロントカバーを開きます。
・ プリントヘッドが交換位置 （中央部 ）まで自動的に移動します。

2 インクのなくなったインクタンクの固定つまみを押し、インクタンクを取り外します。

note

・プリントヘッドは取り外さないで、インクタンクだけを交換してください。

・使用済みのインクタンクは、回収のご協力をお願いします。捨てる場合は、地域の条例にしたがってください。

『基本操作ガイド』

3

新しいインクタンクを取り出し、オレンジ色のテープを点線に沿って引っぱり、フィルムをはがします。

4

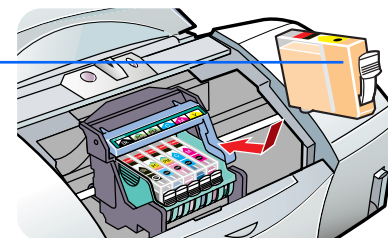
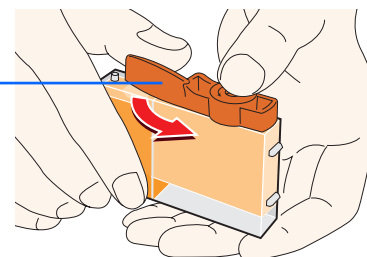
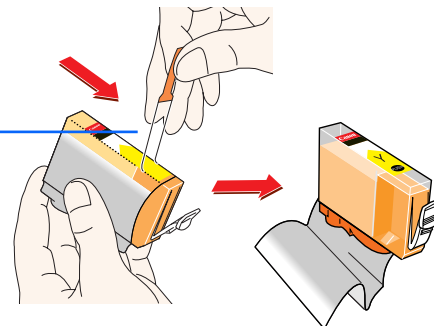
図のようにインクタンクを持ち、オレンジ色の保護キャップを、矢印の方向にゆっくりひねって取り外します。

- 指にインクが付着しないよう、キャップを押さえながら取り外します。
- インクタンクの側面は強く押さないでください。インクが飛び出て、手や衣服を汚すことがあります。
- 取り外した保護キャップは再装着しないで、地域の条例にしたがって捨ててください。

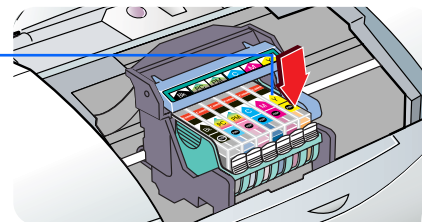
5

新しいインクタンクをプリントヘッドに斜めに差し込みます。

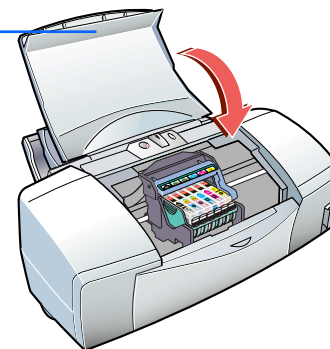
インクタンクを交換する　3/3

6

インクタンク上部の PUSH を押し、インクタンクを固定します。
・「カチッ」という音がするまで、しっかりと押してください。

6

7

フロントカバーを閉じます。

note　インクタンク交換後、印刷がかすれる場合には、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

7

インクタンクの並びかたは正面から見て次の図のようになります。

プリンタを清掃する

印刷枚数が多くなると、排紙口が汚れてきます。汚れが目立ってきた場合は、以下の手順で清掃してください。

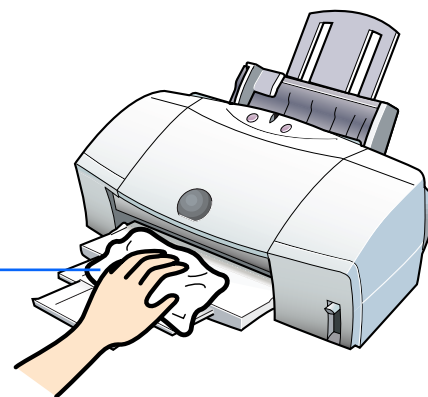
警告
・シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

注意
・清掃するときは、必ず電源コードを抜いてください。

1. 電源コードを抜きます。
2. 排紙口を布で拭きます。

note

表面に特殊加工をした用紙やはがきなどを多く使用すると、プリンタ内部に紙粉がたまり、用紙が正しく送られないことがあります。
また、印刷をくり返しているうちに、印刷した用紙にローラのような跡が目立ってくることがあります。このようなときは、給紙ローラを清掃してください。

給紙ローラを清掃する

プリンタを移送する

引っ越しなどでプリンタを別の場所に移送する場合や、修理などのために宅配便で送る場合は、商品が輸送中のショックで壊れないように、なるべくご購入いただいたときの梱包をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れ、製品がガタついたりインクが漏れたりしないようにしっかりと梱包してください。

・ランプが点灯、点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。プリンタが印刷できなくなることがあります。

1. フロントカバーを開き、プリントヘッドを取り外します。
   ・取り外したプリントヘッドは、ビニール袋に入れ、しっかりと口をしばっておきます。
   ・スキャナカートリッジが取り付けられている場合は、スキャナカートリッジを取り外し、保管箱に入れます。
2. フロントカバーを閉じ、用紙サポートと排紙トレイをしまいます。
3. 電源ボタンを押してプリンタの電源を切ります。ランプが消灯したら、電源プラグをコンセントから抜きます。
4. コンピュータとプリンタから、USB ケーブルを抜きます。
5. テープと保護材でプリンタを固定し、袋に入れます。
   ・用紙サポート、排紙トレイ、フロントカバーが動かないようにテープで止めてしっかり固定してください。
6. プリンタの両側を保護材ではさみ、箱に入れます。

note

運送業者に輸送を依頼する場合は、箱の上部に「精密機器」と明記してください。

トラブル一覧（クリックすると、そのページにジャンプします）

印刷が始まらない・途中で止まる

色味に関する問題

印刷結果がにじむ・かすれる・むらになる

用紙が汚れる・カールする

印刷される位置や向き・サイズがおかしい

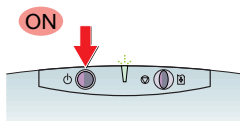
用紙が正しく給紙できない・用紙がつまった

ランプが点滅している・エラーが表示された

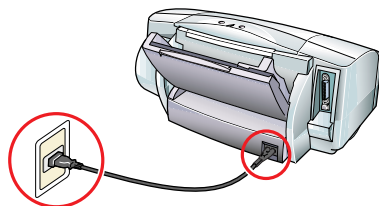
その他の問題

電源が入らない

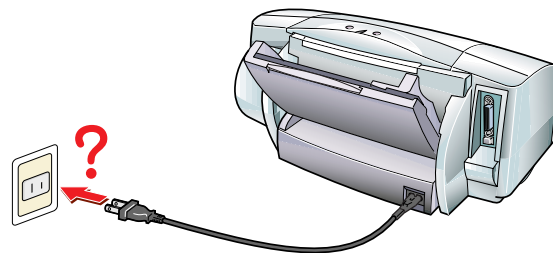
Check Point 1

電源ボタンをしっかりと押しましたか？

電源ボタンをしっかりと押してください。押しかたが浅いと電源が入らないことがあります。

Check Point 2

電源コードはしっかり接続されていますか？

電源コードがコンセントとプリンタにしっかり接続されていることを確認します。電源コードがしっかり接続されていないと、電源が入らないことがあります。

Check Point 3

コンセントに電気はきていますか？

他の電化製品をこのコンセントに差し込み、電気がきているかを確認します。

note

Check Point1 ～3 を確認しても電源が入らない場合は、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いて、修理サービスご相談窓口にご相談ください。

お問い合わせ先を選ぶ

印刷が開始されない（プリンタがまったく動かない）　1 / 2

Check Point 1

電源は入っていますか？プリンタのランプが緑色に点滅していませんか？

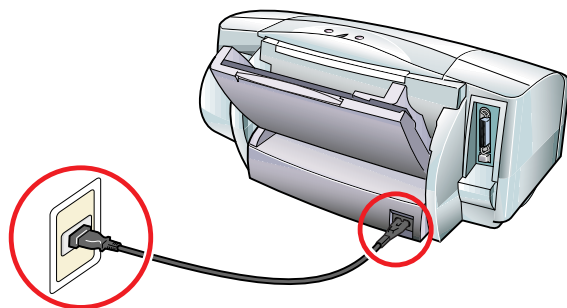
プリンタのランプが緑色に点灯しているかを確認します。
プリンタのランプが緑色に点滅している場合は、プリンタが準備動作をしています。点灯に変わるまでしばらくお待ちください。

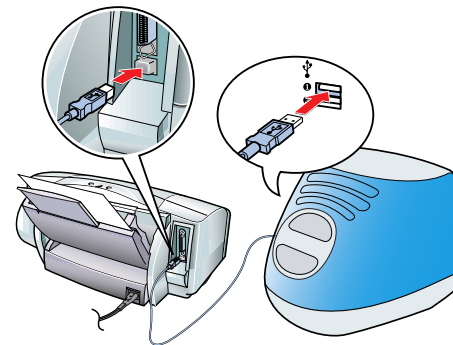
電源が入らない

写真やグラフィックスなど、容量が大きいデータを印刷していませんか？

容量が大きい画像データを印刷すると、コンピュータがデータを処理したり、プリンタに印刷データを転送するまでに時間がかかります。このため、実際に印刷が始まるまでにかなり待たなければならないことがあります。
ランプが緑色に点滅しているときは、コンピュータから印刷データが転送されている状態です。そのままの状態で、しばらくお待ちください。

Check Point 3

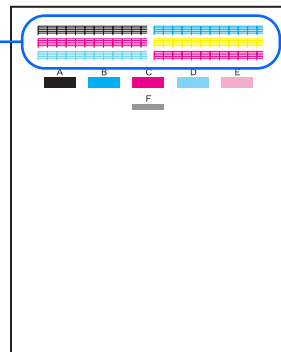
電源コードはしっかり接続されていますか？

電源コードがコンセントとプリンタにしっかり接続されているかを確認します。電源コードがしっかり接続されていないと、電源が入らないことがあります。

プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？

プリンタとコンピュータがしっかり接続されていないと、正しく印刷できません。よく確かめて、しっかり接続してください。

➡『かんたんスタートガイド』

印刷が開始されない（プリンタは動いている）

インクはありますか？ プリントヘッドが目づまりしていませんか？

色が出なかったり、欠けていたらプリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドが目づまりしているか、インクがなくなっていると考えられます。
まず、フロントカバーを開けてインクタンクを取り出し、インクの量を確認します。
インクがある場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。

ノズルチェックパターンを印刷する
プリントヘッドをクリーニングする
インクタンクを交換する

印刷の途中で停止する

Check Point 1

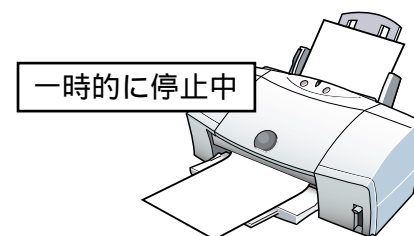
写真やグラフィックスなど、容量が大きいデータを印刷していませんか？

容量が大きい画像データを印刷すると、コンピュータがデータを処理したり、プリンタに印刷データを転送するまでに時間がかかります。このため、実際に印刷が始まるまでにかなり待たなければならず、プリンタが止まっているように見えることがあります。
ランプが緑色に点滅しているときは、コンピュータから印刷データが転送されている状態です。そのままの状態で、しばらくお待ちください。

Check Point 2

接続している USB ケーブルの長さは 2m 以内ですか？

USB ケーブルは 2m 以内のものをお勧めします。長いケーブルをお使いの場合は、正しく印刷できないことがあります。

長い時間、連続して印刷していませんか？

長い時間印刷を続けると、プリントヘッドが過熱します。このような場合、プリントヘッドを保護するために、行の折り返し位置でプリンタが一時的に停止することがありますが、しばらくすると印刷が再開されます。区切りのよいところでいったん印刷を中断し、電源を切って電源コードを抜いてください。そしてプリントヘッドが冷えるまで、しばらくお待ちください（15 分以上）。

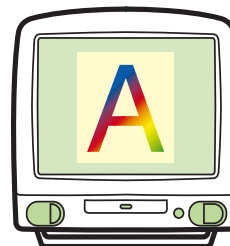
注意 プリントヘッドの周辺が高温になっている場合がありますので、絶対に触らないでください。

きれいにカラー印刷できない　1 / 2

カラー印刷に適した用紙をお使いですか？

写真やイラストのような画像を印刷するときは、プロフェッショナルフォトペーパー、フォト光沢紙、フォト光沢フィルム、高品位専用紙などが向いています。普通紙で印刷するより、色の再現範囲が広がり、鮮やかな発色が得られます。

プリントヘッドが目づまりしたり、プリントヘッドの位置がずれていませんか？

プリントヘッドが目づまりしたり、プリントヘッドの位置がずれていると、きれいに印刷できないことがあります。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。

➡ ノズルチェックパターンを印刷する
➡ プリントヘッドの位置を調整する

きれいにカラー印刷できない　2/2

プリンタドライバの設定は、用紙や印刷する内容にあっていますか？

プリントダイアログを表示し、[印刷設定]で印刷する内容にあったアイコンを選択してください。また、[用紙の種類]の設定が、実際に印刷する用紙にあっているかも確認します。

note

印刷設定で設定されている色調整ではもの足りないときは、カラーパネルで「カラーバランス」、「マッチング方法」、「ガンマ補正」などの設定を調整してみてください。

全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する

詰め替え用のインクを使っていませんか？

市販の詰め替え用インクなどを使うと、十分なカラー品質が得られないことがあります。インクがなくなったときは、キヤノン製インクタンクのご使用をお勧めします。

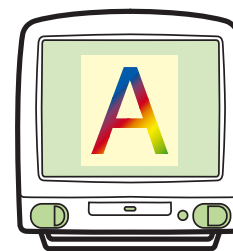
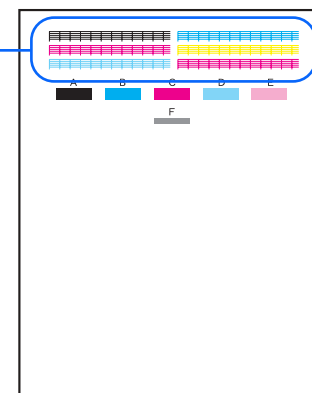
画面で見る色と印刷される色が異なる　1 / 2

コンピュータのディスプレイと印刷では発色の方法が異なります。また、ディスプレイを見ているときの環境（あかりの色や強さ）や、ディスプレイの色の調整によっても色は違ってきます。このため、コンピュータのディスプレイとまったく同じ色で印刷することはできません。
ただし、極端に色が違う場合は、次の項目をチェックしてみてください。

インクはありますか？ プリントヘッドが目づまりしていませんか？

極端に色がおかしいときは、特定の色のインクがなくなっているか、プリントヘッドが目づまりしていることがあります。
まず、フロントカバーを開けてインクタンクを取り出し、インクの量を確認します。インクがある場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。

ノズルチェックパターンを印刷する
プリントヘッドをクリーニングする
インクタンクを交換する

画面で見る色と印刷される色が異なる　2/2

プリンタドライバの設定は、用紙や印刷する内容にあっていますか？

プリントダイアログを表示し、［印刷設定］で印刷する内容にあったアイコンを選択してください。また、［ 用紙の種類 ］の設定が、実際に印刷する用紙にあっているか、［ 単色効果 ］が設定されていないかを確認します。

note

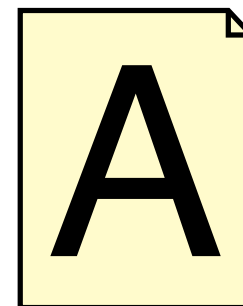
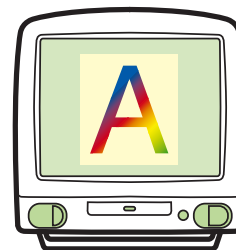
印刷設定で設定されている色調整ではもの足りないときは、カラーパネルで「カラーバランス」、「マッチング方法」、「ガンマ補正」などの設定を調整してみてください。

全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する

カラー印刷をしているのにモノクロで印刷されてしまう

[グレースケール印刷] が設定されていませんか？

プリントダイアログで [グレースケール印刷] のチェックマークを確認し、チェックマークが付いていたら、クリックして外してください。

➡ カラー原稿をグレースケールで印刷する

アプリケーションソフト側で、カラー印刷をしないように設定されていませんか？

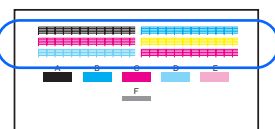
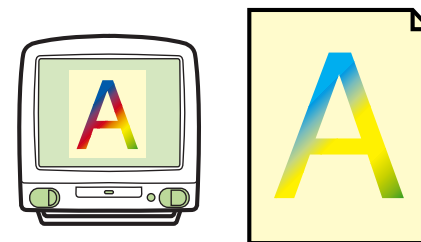
アプリケーションソフトの中には、カラー印刷をしないように設定できるものがあります。
カラー印刷をしないように設定されている場合は、設定を変更してください。

➡ アプリケーションソフトの取扱説明書

違う色で印刷される

インクはありますか？
プリントヘッドが目づまりしていませんか？

文字がかすれたり、違う色で印刷されるときは、特定の色のインクがなくなっているか、プリントヘッドが目づまりしていることがあります。
まず、インクタンクにインクがあることを確認します。
インクがある場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。

色が出なかったり、欠けていたらプリントヘッドのクリーニング

インクタンクを交換する
ノズルチェックパターンを印刷する
プリントヘッドをクリーニングする

Check Point 2

インクタンクの位置は正しいですか？

インクタンクの位置を確認し、間違っている場合は次の手順で処置をしてください。

1. ラベルを確認して、インクタンクを正しい位置に取り付け直します。
2. プリントヘッドをクリーニングします。
3. ノズルチェックパターンを印刷し、各色のインクが正しく印刷されていることを確認します。
   - インクの色が混じっている場合は、手順 2 と 3 を繰り返してください。

インクがにじむ　*1 / 2*

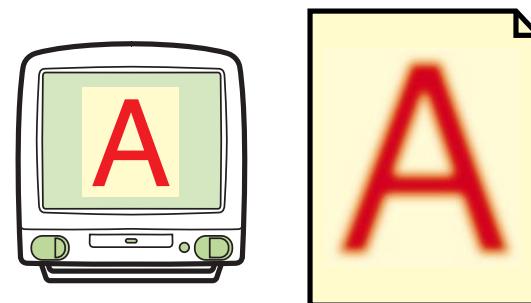
写真やグラフィックスなど、インクをたくさん使う原稿を印刷していませんか？

インクをたくさん使う原稿の場合は、クオリティパネルで［ 印刷品位 ］を高品位側に設定して印刷をしてみてください。インクをたくさん使う場合に画像のにじみが少なくなります。また、カラーや黒が接する部分が多い原稿の場合も、［印刷品位 ］を高品位側に設定するとにじみが減ります。

印刷品位を変更する

［ 印刷品位 ］には、選んでいる用紙の種類により選択できない設定があります。

普通紙を使っていませんか？

用紙の種類を変えて印刷してみてください。
プロフェッショナルフォトペーパー、フォト光沢紙、高品位専用紙などの専用紙は、普通紙に比べてインクがにじみにくいように作られています。

プリントヘッドが汚れていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてみてください。

プリントヘッドをクリーニングする

高い濃度で印刷をしていませんか？

インクの濃度を低くして印刷してみてください。使うインクの量が減るため、用紙の波打ちを防ぐことができます。

全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する

note

A5 サイズなどのような小さめの普通紙の場合は、インクをたくさん使う印刷をすると用紙が大きくカールすることがあります。

かすれる / 白いすじが出る

用紙の表と裏は正しいですか？

用紙の表面と裏面を確認し、表面を手前側にして用紙をセットしてください。

Check Point 2

インクはありますか？

フロントカバーを開けてインクタンクを取り出し、インクの量を確認してください。
インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

note

インクが少なくなっている場合は、印刷中に、印刷の進行状況を示すダイアログか BJ プリントモニタで、インク残量を確認することができます。

➡『基本操作ガイド』
➡ BJ プリントモニタを開く

Check Point 3

プリントヘッドがつまっていませんか？

インクはあるのに印刷がかすれる場合は、プリントヘッドのノズルが目づまりしていることが考えられます。『基本操作ガイド』の「プリントヘッドをメンテナンスする」の手順にしたがって、メンテナンスをしてください。

➡『基本操作ガイド』

色むらやすじのような模様が出る

［印刷品位］を高速側に設定していませんか？

［印刷品位］を高品位側に変えてみてください。

印刷品位を変更する

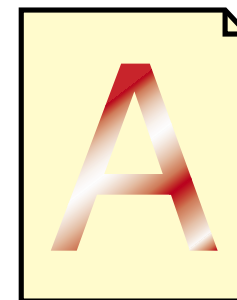
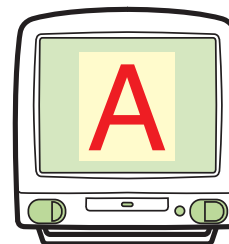
note

［印刷品位］には、選んでいる用紙の種類により選択できない設定があります。

Check Point 2

［ディザリング］の設定は印刷する内容にあっていますか？

クオリティパネルで、［ディザリング］を［誤差拡散］に設定してみてください。
［誤差拡散］に設定することで、色むらやすじのように見える部分が、よりなめらかに印刷されます。

中間色の表現方法（ディザリング）を変更する

Check Point 3

ヘッド位置がずれていませんか？

プリントヘッドの位置がずれていると、色むらやすじのような模様が出ることがあります。この場合は、プリントヘッドの位置調整をしてください。

ノズルチェックパターンを印刷する
プリントヘッドの位置を調整する

グラデーション部分に帯状の色むらが出る

お使いのアプリケーションソフトは QuickDraw に対応していますか？

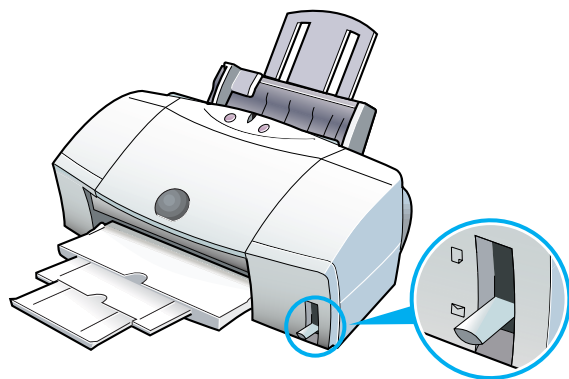
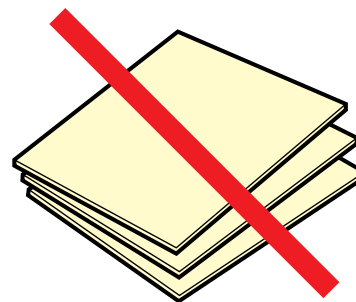
本機は、QuickDraw と呼ばれる形式に対応したプリンタです。そのため、QuickDraw に対応していないアプリケーションソフトを使うと、グラデーション部分に帯状の色むらが発生し、滑らかなグラデーションとして印刷されないことがあります。本機での印刷には、QuickDraw に対応したアプリケーションソフトを使用してください。

アプリケーションソフトの取扱説明書

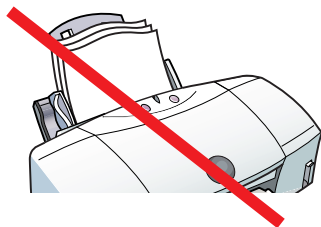
用紙の印刷面が汚れる　1/2

紙間選択レバーの位置は正しいですか？

封筒やバナー紙、厚紙に印刷するときは、紙間選択レバーを ✉ （下）に設定してください。

➡『基本操作ガイド』

厚紙に印刷していませんか？

規定以上の厚さの用紙を使うと、プリントヘッドが用紙に直接当たり、印刷面をこすることがあります。0.6mmを超える厚さの用紙は使わないでください（用紙の厚さが 0.6mm 以下でも 105g/m^2 より重い用紙は、手差し給紙口にセットしてください）。
また、このようなトラブルが起きたときは、プリントヘッドが汚れている可能性がありますので、プリントヘッドのクリーニングをしてください。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

用紙の印刷面が汚れる　2 / 2

反った用紙に印刷していませんか？

反った普通紙に印刷すると、反りの方向によっては用紙の後端がこすれることがあります。反った用紙は使用しないでください。

高い濃度で、普通紙に印刷していませんか？

インクの濃度を高くして普通紙に印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打ち、印刷面がこすれることがあります。インクの濃度を低く変更して印刷してみてください。

全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する

印刷推奨領域より大きな画像を印刷していませんか？

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。印刷推奨領域の内側におさまるようにして印刷してください。

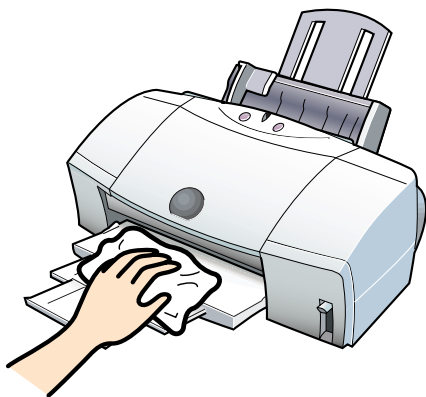
印刷できる範囲

給紙ローラが汚れていませんか？

給紙ローラが汚れていると、印刷面にローラのあとが付く場合があります。給紙ローラを清掃してください。

給紙ローラを清掃する

用紙の裏面が汚れる

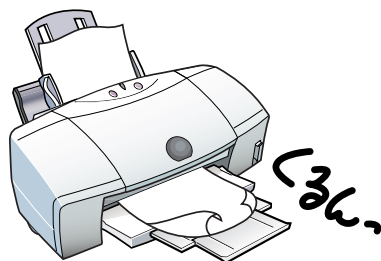
プリンタの排紙口が汚れていませんか？

プリンタを長時間使用していると、プリンタの排紙口が汚れてきます。プリンタを清掃してください。

プリンタを清掃する

インクが乾かないうちに次のページが排出されていませんか？

写真など、乾燥に時間がかかるものを印刷するときは、排出された用紙が十分に乾く前に次の用紙が排出されることがあります。このようなときは、印刷が終了した用紙を排紙口から１枚ずつ取り除き、用紙が重ならないようにしてください。

用紙が反る / 波打つ

薄い用紙に印刷をしていませんか？

色の濃い絵や写真の印刷には、インクをたくさん使うため、用紙がカールしたり波打つことがあります。この場合はプロフェッショナルフォトペーパー、フォト光沢フィルム、高品位専用紙などを使用することをお勧めします。これらの専用紙には、印刷面にコーティング処理が施されているため、インクの吸着性が上がり、印刷しても用紙が反りにくくなっています。

note

これらの専用紙の裏側はコーティング処理されていないため、インクの吸着性は表面より悪くなります。間違って裏面に印刷しないよう気をつけましょう。

高い濃度で印刷をしていませんか？

インクの濃度を低くして印刷してみてください。使うインクの量が減るため、用紙の波打ちを防ぐことができます。

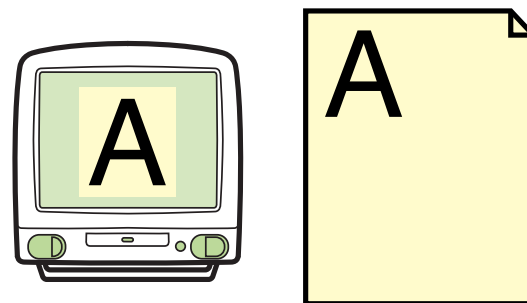
全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する

note

A5 サイズなどのような小さめの普通紙の場合は、インクをたくさん使う印刷をすると用紙が大きくカールすることがあります。

左上や右下にずれて印刷される　*1 / 2*

プリンタドライバで設定したサイズと異なる大きさの用紙をセットしていませんか？

プリンタドライバで設定した用紙サイズと異なる大きさの用紙に印刷すると、印刷位置が左上や右下にずれて印刷されます。用紙設定ダイアログで設定している用紙と同じサイズの用紙をセットするか、用紙設定ダイアログの［用紙サイズ］の設定を、印刷する用紙と同じサイズにしてください。

用紙サイズを変更する

2

縮小 / 拡大して印刷していませんか？

用紙設定ダイアログで拡大 / 縮小印刷を行う設定になっている場合、[拡大 / 縮小] の設定を確認してください。

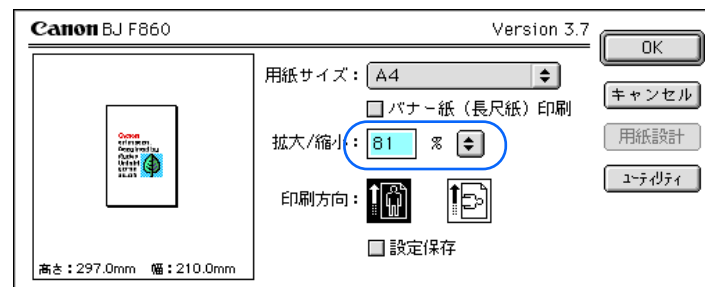
●縮小して印刷する場合

設定より大きなサイズの用紙を使うと、印刷位置が左上にずれて印刷されます。印刷する用紙にあうように縮小率を設定するか、縮小後の用紙サイズを設定してください。

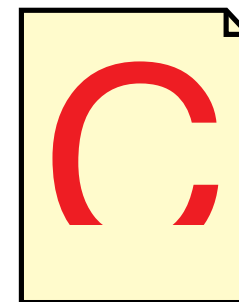
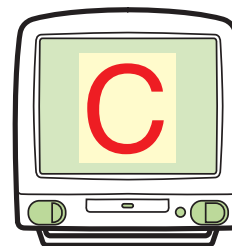
●拡大して印刷する場合

設定より小さなサイズの用紙を使うと、印刷位置が右下にずれたり、右側や下側が欠けて印刷されます。印刷する用紙にあうように拡大率を設定するか、拡大後の用紙サイズを正しく設定してください。

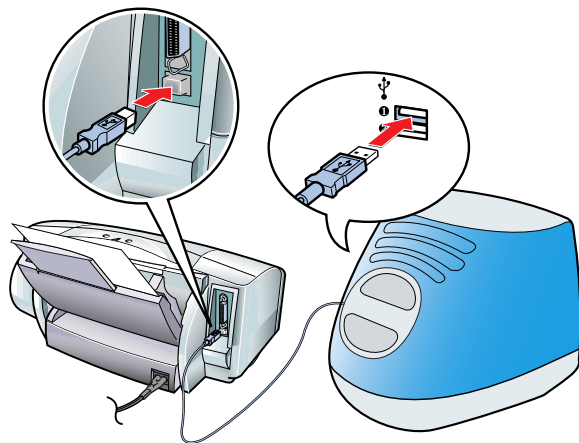
➡ 拡大 / 縮小して印刷する

ページの終わりの部分が印刷されない　1 / 2

用紙サイズの設定は、印刷する用紙にあっていますか？

アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定している用紙サイズと実際に印刷する用紙のサイズが違うと、文書の一部が印刷されないことがあります。印刷する用紙と用紙設定ダイアログの［用紙サイズ］の設定をあわせてください。

用紙サイズを変更する

ページ設定で用紙サイズを指定できるアプリケーションソフトを使用している場合は、アプリケーションソフトのページ設定で設定している用紙サイズと、用紙設定ダイアログの［用紙サイズ］が同じになるように設定してください。

ページの終わりの部分が印刷されない　2/2

プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？

プリンタとコンピュータがしっかり接続されていないと、正しく印刷できません。よく確かめて、しっかり接続してください。

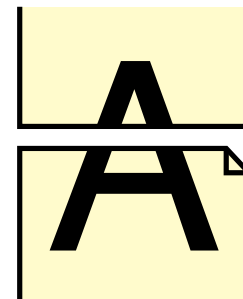
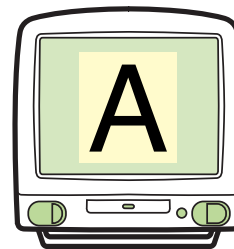
ページの最後の部分が次のページにまたがって印刷される

1

アプリケーションソフトで設定されている上側の余白が大きすぎませんか？

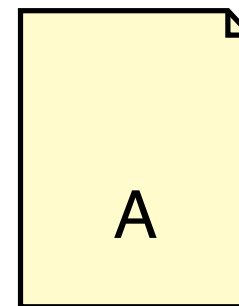
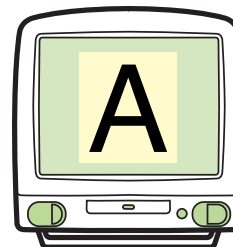
アプリケーションソフトで上側の余白の値を小さくしてください。余白を設定できない場合は、1 ページの行数を増やしてください。

アプリケーションソフトの取扱説明書

拡大／縮小印刷が正しくできない

1

設定した拡大／縮小率にあった用紙を使っていますか?

拡大／縮小して印刷するためには、拡大／縮小率にあった用紙をプリンタにセットしてください。

拡大／縮小して印刷する

90 °回転して印刷される

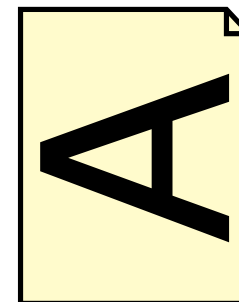
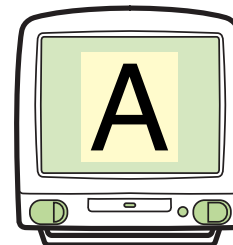
[印刷方向] の設定は正しいですか？

用紙を縦にセットしているときに、[印刷方向] が [ ] に設定されていると、原稿は 90 °回転して印刷されます。

印刷方向を変更する

アプリケーションソフト側で 90 °回転して印刷するように設定していませんか？

アプリケーションソフトによっては、縦に用紙をセットして横に印刷する機能を備えているものがあります。お使いのアプリケーションソフトの設定を確認してください。

アプリケーションソフトの取扱説明書

note

このようなアプリケーションソフトをお使いの場合は、アプリケーションソフトと用紙設定ダイアログの [印刷方向] が同じになるように設定してください。

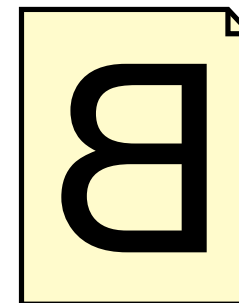
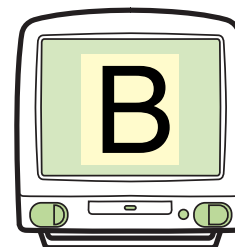
左右が反転して印刷される

1

[用紙の種類] を [T シャツ転写紙] に設定していませんか？

[T シャツ転写紙] に設定すると、左右を反転させ、鏡に映ったような裏返しの状態で印刷されます。
プリントダイアログで、[印刷の種類] を実際に使用している用紙に設定してください。

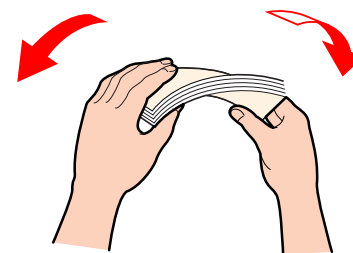
基本的な印刷設定をする

はがきが正しく給紙できない　1 / 2

Check Point 1

一度にたくさんのはがきをセットしていませんか？

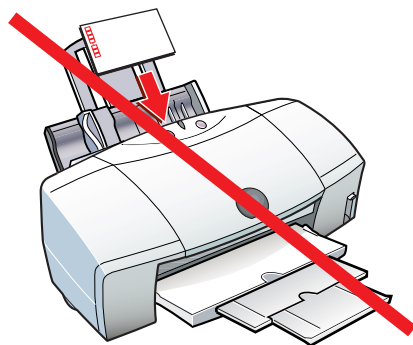
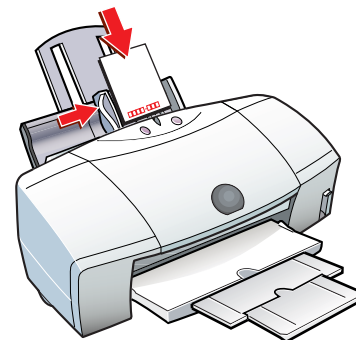
一度にセットできるはがきの枚数は、プロフェッショナルフォトはがきで 20 枚、官製はがきやフォト光沢はがきで 40 枚までです。
それでも正しく給紙されないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

『基本操作ガイド』

はがきが反っていませんか？

反ったはがきをセットすると、正しく給紙できないことがあります。反りと逆の方向にはがきを曲げ、反りを矯正してからセットしてください。

シールのついたはがきや、往復はがきをセットしていませんか？

シール、写真、ステッカーなどが貼られたはがきは正しく給紙できないことがあります。また、往復はがきのように折り目のあるはがきも使わないでください。

はがきを横にしてセットしていませんか？

はがきは縦にしてセットしてください。

用紙ガイドを正しくセットしましたか？

用紙ガイドを用紙の左端に軽く当ててください。
用紙ガイドが用紙に沿っていない場合は、斜めに引き込まれたり、用紙がつまる原因になります。

それでも正しく給紙されない場合は、クリーニングプレートを使って給紙ローラを清掃してください。

給紙ローラを清掃する

封筒が正しく給紙できない　*1/2*

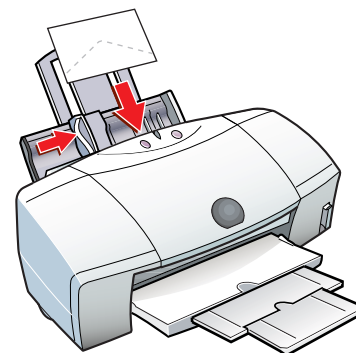
Check Point 1

一度にたくさんの封筒をセットしていませんか？

一度にセットできる封筒の枚数は、10 枚までです。

それでも正しく給紙されないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

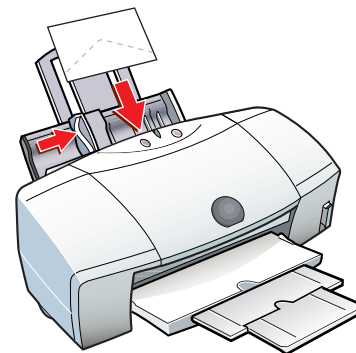
『基本操作ガイド』

封筒を正しい方向にセットしていますか？

封筒をセットするときは、横にして宛名面を上に、封筒のふたの部分を下にしてください。これ以外の方向に置いた場合は、正しく給紙できず用紙づまりの原因となります。

封筒が正しく給紙できない　2/2

封筒が反ったり、膨らんでいませんか？

封筒をセットするときは、封筒の周りを押さえ、反りをとりながら封筒の中に入っている空気を抜いてください。反りがとれない場合は、封筒の端の対角を持って、反りと逆の方向に軽く曲げてください。
また、封筒のふたの部分が浮いたり曲がっている場合は、まっすぐになるように押さえてください。うまく引き込まれないときは、ペンの先などを使って封筒の先端をしっかりつぶしてからセットしてください。

封筒に印刷する

用紙ガイドを正しくセットしましたか？

用紙ガイドを用紙の左端に軽く当ててください。
用紙ガイドが用紙に沿っていない場合は、斜めに引き込まれたり、用紙がつまる原因になります。

それでも正しく給紙されない場合は、クリーニングプレートを使って給紙ローラを清掃してください。

給紙ローラを清掃する

オートシートフィーダから用紙が給紙できない　1 / 2

用紙が厚すぎませんか？

オートシートフィーダで厚紙をセットすることはできません。厚紙（ただし 0.6mm 以下）は手差しで 1 枚ずつセットしてください。

厚紙に印刷する

用紙が折れたり、反っていませんか？

折れた用紙、反った用紙、しわのある用紙は使わないでください。給紙できないだけではなく、用紙がつまる原因となります。

オートシートフィーダから用紙が給紙できない　2 / 2

一度にたくさんの用紙をセットしていませんか？

オートシートフィーダの積載マークを超えないように、用紙をセットしてください。
それでも正しく給紙されないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

プリントダイアログで［給紙方法］が［手差し］に設定されていませんか？

［給紙方法］が［オートシートフィーダ］に設定されているかを確認します。

給紙方法を変更する

それでも正しく給紙されない場合は、クリーニングプレートを使って給紙ローラを清掃してください。

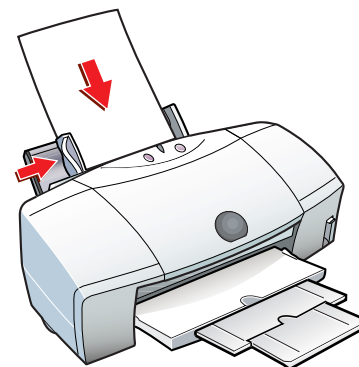
給紙ローラを清掃する

用紙が斜めに給紙される

一度にたくさんの用紙をセットしていませんか？

オートシートフィーダの積載マークを超えないように、用紙をセットしてください。
それでも正しく給紙されないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

用紙が折れたり、反っていませんか？

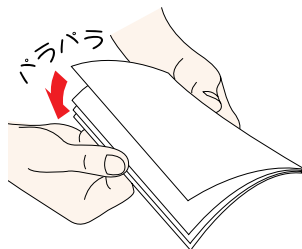
折れた用紙、反った用紙、しわのある用紙は使わないでください。正しく給紙できないだけではなく、用紙がつまる原因となります。

用紙ガイドを正しくセットしましたか？

用紙ガイドを用紙の左端に軽く当ててください。
用紙ガイドが用紙に沿っていない場合は、斜めに引き込まれたり、用紙がつまる原因になります。

用紙が何枚も重なって給紙される

1

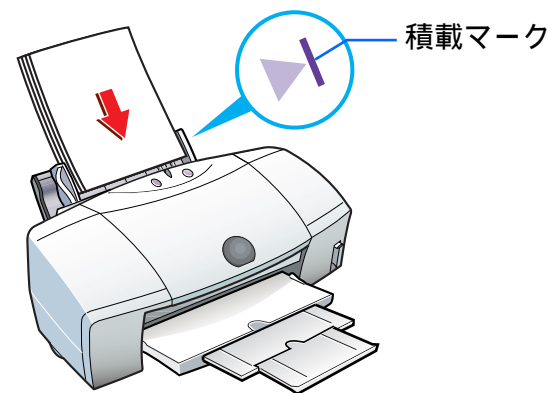
用紙をよくさばいてからセットしましたか？

セットする前に、用紙をよくさばき、端を揃えてください。用紙をさばくことで、用紙と用紙の間に空気が入り、1 枚ずつ確実に給紙することができます。

Check Point 2

用紙が折れたり、反っていませんか？

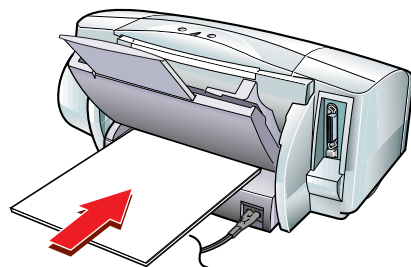
折れた用紙、反った用紙、しわのある用紙は使わないでください。給紙できないだけではなく、用紙がつまる原因となります。

3

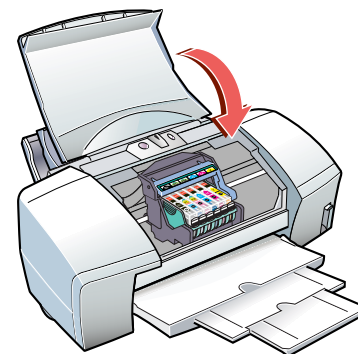
一度にたくさんの用紙をセットしていませんか？

オートシートフィーダの積載マークを超えないように、用紙をセットしてください。
それでも正しく給紙されないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

手差し給紙ができない

1

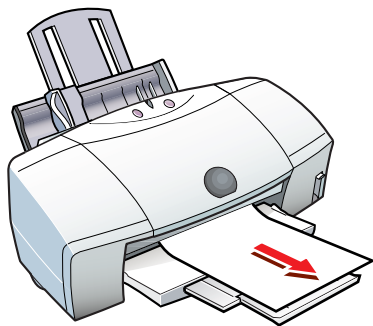
用紙を正しく差し込みましたか？

印刷したい面を上にして、手差し給紙口の左端に用紙を沿わせ、用紙が突き当たるまでまっすぐに差し込んでください。1 秒ほどで自動的に用紙が引き込まれます。

2

フロントカバーが開いていませんか？

フロントカバーを閉じてから、手差し給紙口に用紙をセットしてください。

●オートシートフィーダで用紙がつまったとき

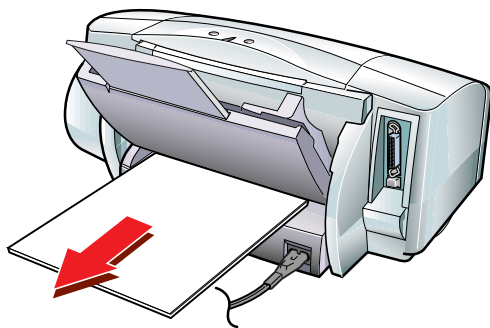
1. オートシートフィーダにセットされている用紙を取り除きます。

2. つまった用紙を引き出しやすい方（より多く用紙が出ている方）にゆっくり引っ張って取り除きます。

3. 用紙をセットして、プリンタのリセットボタンを押します。

note

- 用紙が破れてプリンタ内部に残ったときは、電源ボタンを押して電源を切ってからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除いてください。
- 電源を切った場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。
- A5 サイズの用紙は文字中心の原稿の印刷に適しています。写真やグラフィックを含む原稿を印刷すると、用紙がカールして排出不良の原因となることがあります。

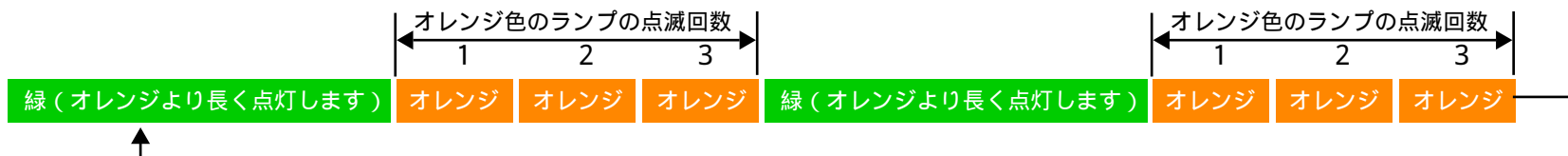
●手差しで用紙がつまったとき

1 つまった用紙を引き出しやすい方（より多く用紙が出ている方）にゆっくり引っ張って取り除きます。

2 用紙をセットして、プリンタのリセットボタンを押します。

note

・用紙が破れてプリンタ内部に残ったときは、電源を切ってからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除いてください。
・電源を切った場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。
・A5 サイズの用紙は文字中心の原稿の印刷に適しています。写真やグラフィックスを含む原稿を印刷すると、用紙がカールして排出不良の原因となることがあります。

ランプが点滅している *1/3*

**エラーが発生すると、緑色とオレンジ色のランプが交互に点滅します。
緑色のランプが点灯する間にオレンジ色のランプが何回点滅するかによって、トラブルの原因がわかります。**

上記の例では、オレンジ色のランプの点滅回数は３回になります。下記の「用紙がつまった」ときの対処方法をご覧ください。

note

緑色のランプのみの点滅は、プリンタが動作中であることを示しています。そのままお待ちください。動作が完了すると、緑色のランプが点灯に変わります。

オレンジ色のランプの点滅回数	トラブルの原因	対処のしかた
2 回	用紙がない／給紙できない	用紙がセットされていない場合や、用紙が引き込まれない場合は、用紙を正しくセットし、リセットボタンを押してください。 オートシートフィーダから用紙が給紙できない 『基本操作ガイド』
3 回	用紙がつまった	つまった用紙を取り除き、エラーを解除するためにリセットボタンを押してください。 用紙がつまった

ランプが点滅している　2/3

オレンジ色のランプの点滅回数	トラブルの原因	対処のしかた
4 回	インクがなくなった	インクタンクを交換します。 インクタンクを交換する
5 回	プリントヘッドが正しく取り付けられていない	プリントヘッドホルダにしっかりとプリントヘッドを取り付けてください。 また､印刷する場合はプリントヘッドが取り付けられていることを､スキャンする場合はスキャナカートリッジが取り付けられていることを確認してください。
6 回	プリントヘッドが取り付けられていない	プリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん外し､接点部が汚れてないかを確認して､もう一度取り付けてください。
7 回	プリントヘッドが故障している / 他機種用のプリントヘッドが取り付けられている	他機種用のプリントヘッドが取り付けられていないか確認してください。正しいプリントヘッドが取り付けられている場合は､いったん電源を切り､もう一度電源を入れ直してください。それでもエラーが解決しない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店または修理受付窓口にご相談ください。 『ご相談窓口のご案内』

ランプが点滅している　3/3

オレンジ色のランプの点滅回数	トラブルの原因	対処のしかた
8回	廃インクタンクが満杯になりそう	内蔵されている廃インクタンクがそろそろ満杯になります。 リセットボタンを押して、エラーを解除してください。しばらくは、このまま印刷を続けることができますが、廃インクタンクが満杯になると印刷できなくなります。早めに、お買い上げいただいた販売店または修理受付窓口に廃インクタンクの交換を依頼してください。 『ご相談窓口のご案内』 note ・廃インクタンクは、プリントヘッドのクリーニング時に消費したインクをためるタンクです。

note

緑色とオレンジ色のランプが交互に点灯している場合は、サービスが必要なエラーが発生しています。
電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、しばらくしてから電源プラグをコンセントに接続して電源ボタンを押してください。それでも同じようにランプが点灯する場合は、お買い上げいただいた販売店または、お近くの修理受付窓口にご相談ください。

『ご相談窓口のご案内』

「エラー番号：＊n（＊は英文字、n は数字）」が表示された

表示されたエラー番号により、エラーの原因が異なります。

●「エラー番号：＊ 202」と表示された場合

印刷のために必要なメモリが不足しています。
他のアプリケーションソフトを終了し、空きメモリを増やしてください。

●「エラー番号：＊ 203」と表示された場合

インストールされているプリンタドライバに異常があります。
プリンタドライバを再インストールしてください。

➡ プリンタドライバのインストール

●「エラー番号：＊ 300」と表示された場合

まず、プリンタの電源がオンになっていること、およびプリンタとコンピュータがしっかりと接続されていることを確認してください。

電源や機器の接続に問題がなかった場合は、アップルメニューから［セレクタ］を選択し、ご使用になっているプリンタのアイコンをクリックします。ご使用になっているプリンタが、［接続先］に表示されているかを確認してください。

それでも問題が解決しない場合は、不要な機能拡張書類やコントロールパネル書類を外して印刷してください。

罫線がまっすぐに印刷されない

プリントヘッドの位置調整を正しく行いましたか？

表の罫線の印刷がずれてきれいにつながらないときは、プリントヘッドの位置調整を再度行ってください。

プリントヘッドの位置を調整する

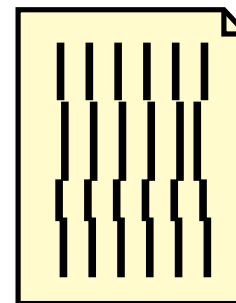
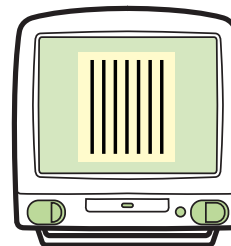
[印刷品位] を高速側に設定していませんか？

[印刷品位] を高品位側に変えてみてください。

印刷品位を変更する

note

[印刷品位] には、選んでいる用紙の種類により選択できない設定があります。

文字や図形がギザギザになって印刷される

 1

お使いのアプリケーションソフトは QuickDraw に対応していますか？

本機は、QuickDraw と呼ばれる形式に対応したプリンタです。そのため、QuickDraw に対応していないアプリケーションソフトを使うと、文字や図形の線がギザギザになり、きれいに印刷されないことがあります。本機での印刷には、QuickDraw に対応したアプリケーションソフトを使用してください。

なお、PostScript と呼ばれる形式に対応したアプリケーションソフトを使用する場合、アプリケーションソフトによっては、PostScript フォントの他に ATM フォント、または TrueType フォントの文字を指定できるものがあります。ATM フォントまたは TrueType フォントの指定をすると、文字が正常に印刷されます。

➡ アプリケーションソフトの取扱説明書

インクがなくなった

**印刷している途中でインクがなくなり、印刷が止まってしまったときは、次の手順でインクタンクを取り換えてください。
インクタンク交換後、自動的に残りのデータを印刷します。**

animation

1. フロントカバーを開きます。

2. インクのなくなっているインクタンクを新しいインクタンクに交換します。

   インクタンクを交換する

   note インクタンクを交換せずに印刷を継続する場合は、プリンタのリセット ボタンを押してください。

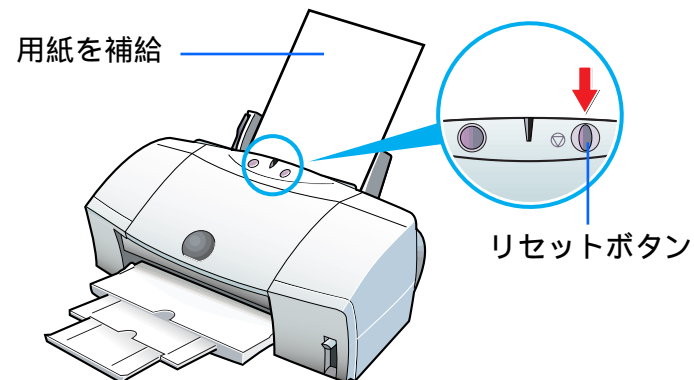
3. フロントカバーを閉じます。
   ・ 印刷が再開され、残りのデータを印刷します。

用紙がなくなった

印刷している途中で用紙がなくなり、印刷が止まってしまったときは、次の手順で用紙を補給してください。

1. **オートシートフィーダに用紙をセットします。**

2. **プリンタのリセットボタンを押します。**
   - 止まっていた印刷が始まります。

印刷に時間がかかりすぎる

写真やグラフィックスなど、容量が大きいデータを印刷していませんか？

高精細な画像や写真など、容量が大きいデータを印刷すると、コンピュータがデータ処理したり、プリンタにデータを転送するまでに時間がかかります。このため、実際に印刷が始まるまでにかなり待たなければならないことがあります。
ランプが緑色に点滅しているときは、コンピュータからデータが転送されている状態です。そのままの状態で、しばらくお待ちください。

Check Point 2

1 色のインクを大量に使うような印刷を連続して行っていませんか？

1 色のインクを大量に使うような印刷を連続して行うと、印刷が途中で一時的に止まる場合があります。
これは、プリントヘッドの過熱を防ぐためで、プリンタの故障や不良ではありません。そのままの状態でお待ちください。

インクの減りかたが早い

Check Point 1

高精細な画像や写真を印刷していませんか？

高精細な画像や写真は、通常の文書ファイルより、インクを大量に使用します。

Check Point 2

印刷濃度の設定が、高濃度になっていませんか？

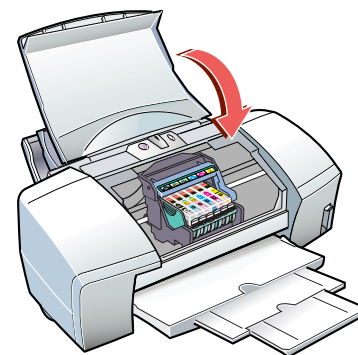
印刷濃度を高濃度側に設定すると、インクを大量に使用します。
印刷する原稿の種類や特徴に応じて、最適な濃度を設定してください。

➡ 全体の色合い、色のバランス、濃淡を補正する

プリントヘッドホルダが交換位置に移動しない

電源は入っていますか？
ランプが緑色に点滅していませんか？

プリンタのランプが緑色に点灯しているかを確認します。
緑色に点滅していたら、プリンタは準備動作中か、印刷中です。点灯に変わるまでしばらくお待ちください。

フロントカバーを 10 分以上開けたままにしていませんか？

フロントカバーを 10 分以上開けたままにすると、プリントヘッドの乾燥を防ぐため、プリントヘッドホルダは右側へ移動します。フロントカバーをいったん閉じ、もう一度開いてください。

バックグラウンド印刷ができない

Check Point 1

ハードディスクの空き容量は足りていますか？

ハードディスクの空き容量が不足していると、バックグラウンド印刷ができないことがあります。ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに十分な空きがない場合は、不要なファイルを削除するなどして、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

コンピュータの印刷環境を調べる

note

ハードディスクの空き容量を確保できない場合は、バックグラウンド印刷をしないように設定してください。

バックグラウンド印刷の設定はされていますか？

1. アップルメニューから［セレクタ］を選択し、ご使用の機種のアイコンを選択します。
2. ［バックグラウンドプリント］が［オフ］になっている場合は、［オン］をクリックします。

ネットワーク環境で使用する 1/4

本機は Ethernet のネットワーク環境で使用できます。ネットワーク環境で使用する際は、以下の手順に従ってください。

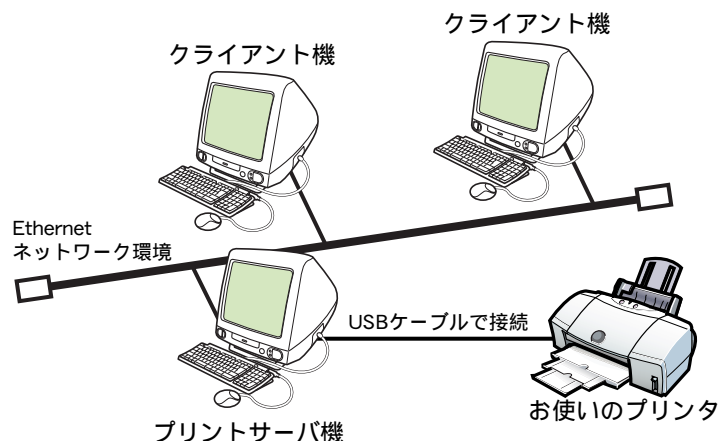
1 プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールします。インストールについては、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。

2 プリンタを接続する

プリントサーバ機として使用するコンピュータに、プリンタを USB ケーブルで接続します。右の例を参考にしてください。

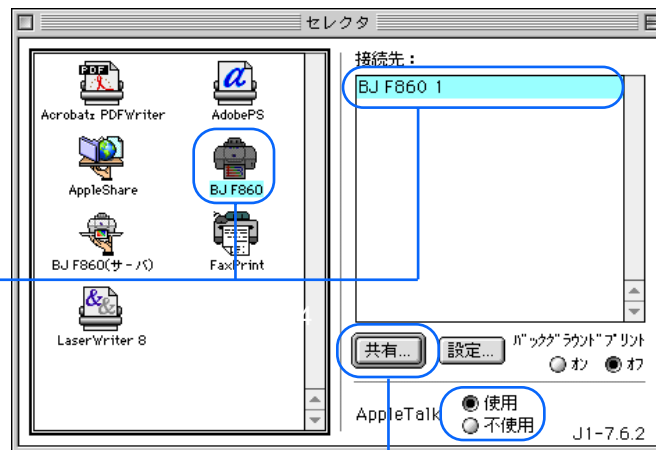
・プリントサーバ機
ネットワーク上で、プリンタを USB ケーブルで直接接続しているコンピュータのことです。BJ プリントモニタで プリンタの状況を把握できます。

・クライアント機
プリントサーバ機と Ethernet で接続されているコンピュータのことです。
クライアント機から印刷を実行すると、データはプリントサーバ機を経由してプリンタに送られます。BJ ステータスモニタでプリンタの状況を把握できます。

3 プリンタの設定をする

各コンピュータでプリンタの設定をしておく必要があります。はじめにプリントサーバ機で設定を行い、次に各クライアント機で設定を行います。

・プリントサーバ機での設定

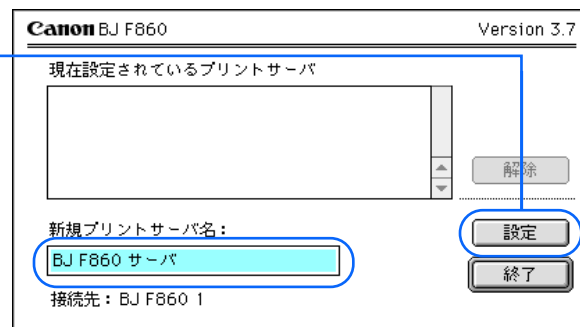
1. アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
2. ［AppleTalk］で［使用］をクリックします。
3. ご使用の機種名のアイコンをクリックし、［接続先］でプリンタの名称を選びます。
   - AppleTalk ゾーンが設定されている場合は、ゾーン名を選びます。
4. ［共有］をクリックします。

ネットワーク環境で使用する 3/4

5 [新規プリントサーバ名] を確認し、[設定] をクリックします。

6 [現在設定されているプリントサーバ] に新規プリントサーバ名が追加されていることを確認し、[終了] をクリックします。

7 クローズボックスをクリックし、セレクタを閉じます。

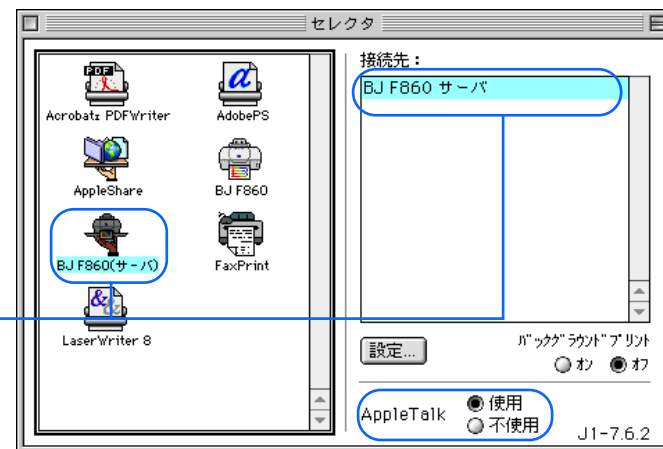
・サーバ機で印刷状況を確認するには
BJ プリントモニタを表示して印刷の状況を確認できます。

BJ プリントモニタを開く

・クライアント機での設定

1 アップルメニューから[セレクタ]を選択します。

2 [AppleTalk」で[使用]をクリックします。

3 お使いの機種名に[(サーバ)]と付いたアイコンをクリックし、[接続先]でプリントサーバ名を選びます。
・ AppleTalk ゾーンが設定されている場合は、プリントサーバ機と同じゾーンを選びます。

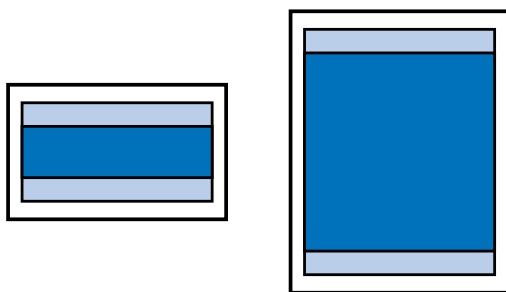
4 クローズボックスをクリックし、セレクタを閉じます。

・クライアント機で印刷状況を確認するには
BJ ステータスモニタを表示して印刷の状況を確認できます。
1. [BJ エクストラ] フォルダ（ハードディスクにインストールされています）にある [BJ ステータスモニタ] アイコンをダブルクリックします。
2. [ファイル] メニューから [プリントサーバの選択] を選択します。
3. 状況を確認したいプリンタとプリントサーバ機を選択し、[OK] をクリックします。
BJステータスモニタを閉じる場合は、[ファイル] メニューから [終了] を選択してください。

印刷できる範囲 *1/7*

プリンタは印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。用紙サイズによって、印刷できる範囲が異なりますのでご注意ください。

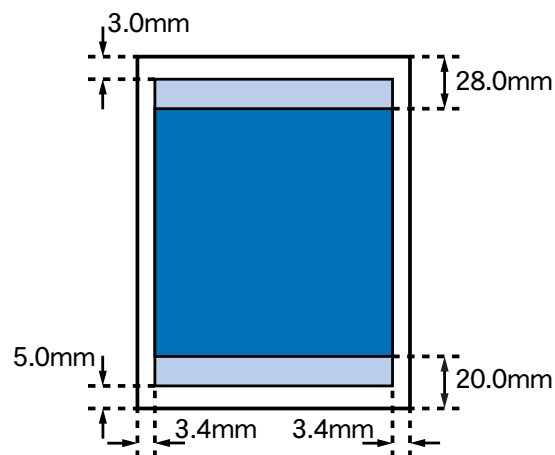
印刷できる範囲には印刷推奨領域と印刷可能領域があります。

印刷推奨領域… この範囲に印刷することをお勧めします。
（ の部分）

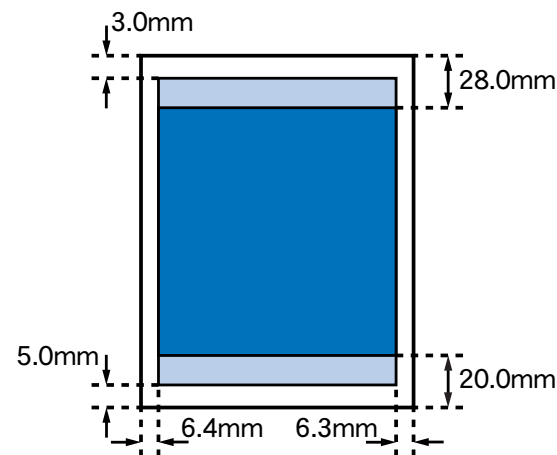
印刷可能領域… 印刷できる範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります。
（ の部分）

- A5、A5 横、A4、B5、はがき
- Letter、Legal
- フォト光沢カード
- プロフェッショナルフォトカード
- 封筒（洋形 4 号）
- 封筒（洋形 6 号）
- バナー紙

● A5、A5 横、A4、B5、はがきの場合

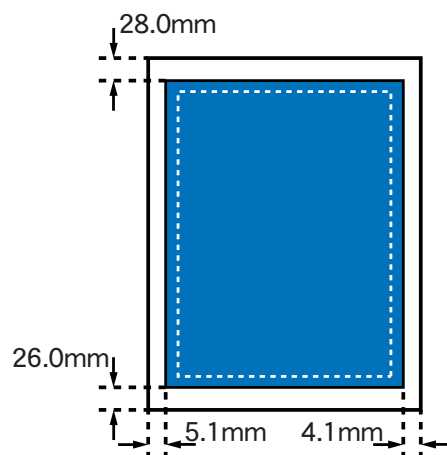
印刷可能領域（幅×長さ）

A5	141.2 × 202.0mm
A5 横	203.2 × 140.0mm
A4	203.2 × 289.0mm
B5	175.2 × 249.0mm
はがき	93.2 × 140.0mm

● Letter、Legal の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

Letter	203.2 × 271.4mm
Legal	203.2 × 347.6mm

●フォト光沢カードの場合

印刷可能領域（幅×長さ）

フォト光沢カード＊ 109.4 × 159.9mm

＊用紙設定ダイアログでの［用紙サイズ］の設定には、［フォトカード］を選んでください。

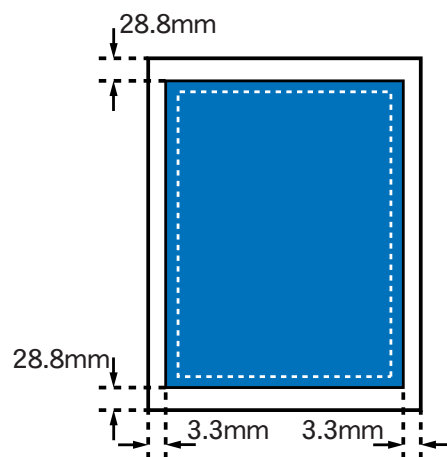
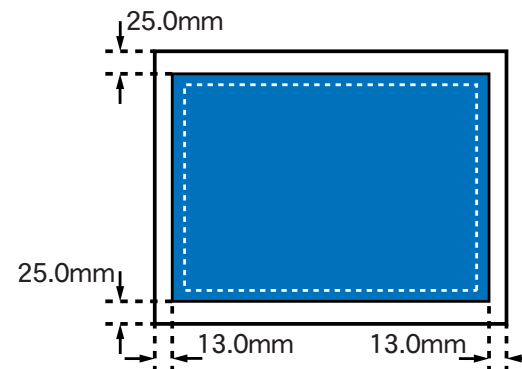
＊付属のアプリケーションソフト「ImageBrowser」を使用して、原稿を作成することもできます。
「ImageBrowser」の使いかたについては、「ImageBrowser」の取扱説明書をご覧ください。

BJ Solution Disk 操作ガイド

●プロフェッショナルフォトカードの場合（1/2）

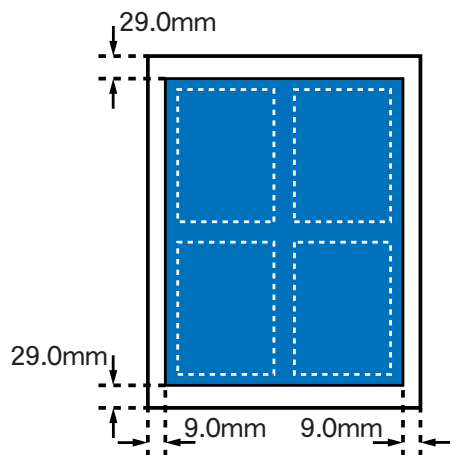
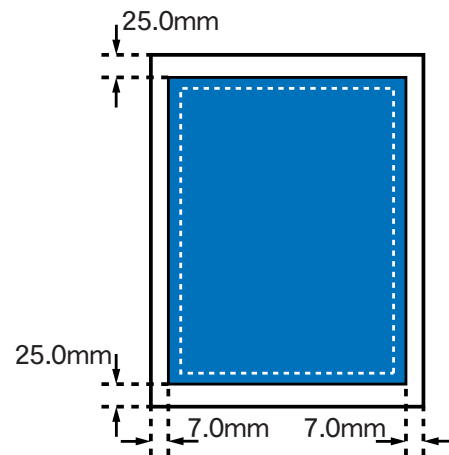
印刷可能領域（幅×長さ）

L判　95.0 × 133.0mm

2L判　184.0 × 133.0mm

＊付属のアプリケーションソフト「ImageBrowser」を使用して、原稿の作成、印刷を行ってください。

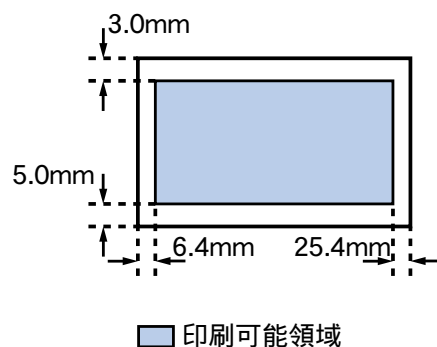
●プロフェッショナルフォトカードの場合（2/2）

印刷可能領域（幅×長さ）

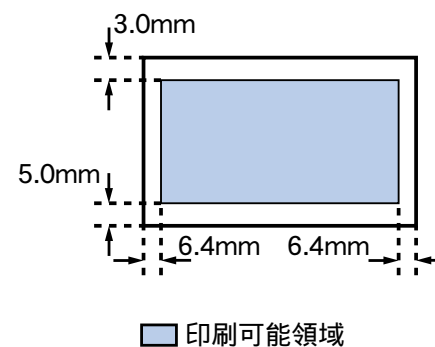
DSC 判 4 面取り　192.0 × 252.0mm

デジカメ六切り判　196.0 × 260.0mm

＊付属のアプリケーションソフト「ImageBrowser」を使用して、原稿の作成、印刷を行ってください。

●封筒（洋形 4 号）の場合

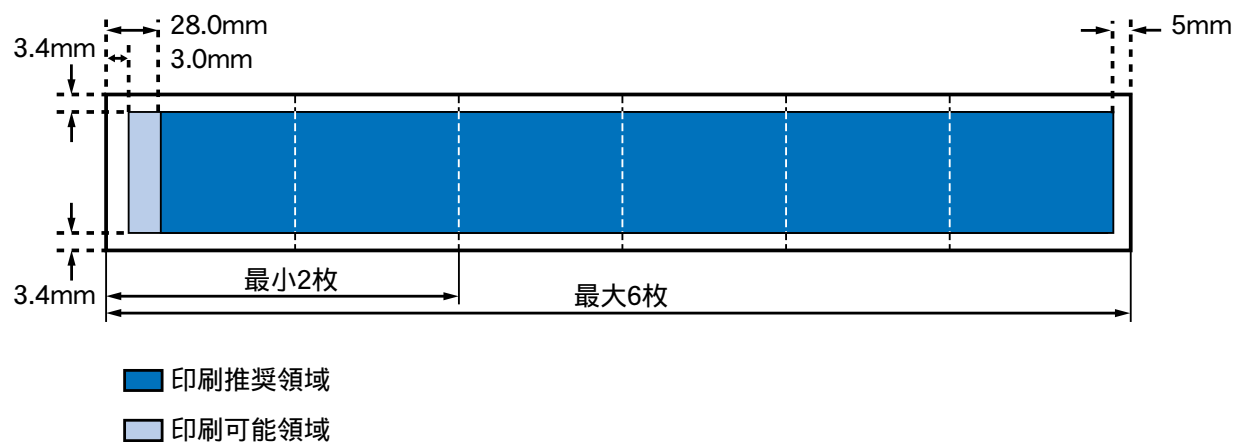
印刷可能領域（幅×長さ）

洋形 4 号　203.2 × 97.0mm

●封筒（洋形 6 号）の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

洋形 6 号　177.2 × 90.0mm

●バナー紙（長尺紙）の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

バナー紙（長尺紙）203.2 × 1774.0mm

最新のソフトウェアを入手する

現在お使いになっているプリンタドライバから、機能が追加されたプリンタドライバに変えることを、バージョンアップといいます。バージョンアップをすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いください。

●最新のソフトウェアを入手するには

ソフトウェアを入手する方法には次の 3 つの方法があります。ご都合のよい方法で入手してください。

- インターネットから入手する
  キヤノン販売インターネットダウンロードサービス（http://www.canon-sales.co.jp/drv-upd/bj/）にアクセスしてください。

- パソコン通信（@nifty キヤノンステーション）から入手する
  @niftyにアクセス後､キヤノンステーションへのGO コマンド「SCANON」を入力してください。プリンタドライバが登録されています。
  ＊通信料はお客様のご負担になります。

- 郵送サービスで入手する
  パソコン通信を利用できないお客様のために郵送サービスを実施しています。プリンタ に同梱されている『ご相談窓口のご案内』をご覧ください。

●最新のソフトウェアをインストールするには

現在インストールされているプリンタドライバは削除せずに、新しいプリンタドライバを簡易インストールしてください。

簡易インストール

note

簡易インストールを行うと、すでにインストールされているファイルとこれからインストールするファイルのバージョンを比較して、新しいファイルのみをインストールします。

簡易インストール　1/2

「簡易インストール」を使うと、プリンタを使うために必要なソフトウェアがすべてインストールされます。必要なソフトウェアだけを指定してインストールする場合は、「カスタムインストール」を使います。

カスタムインストール

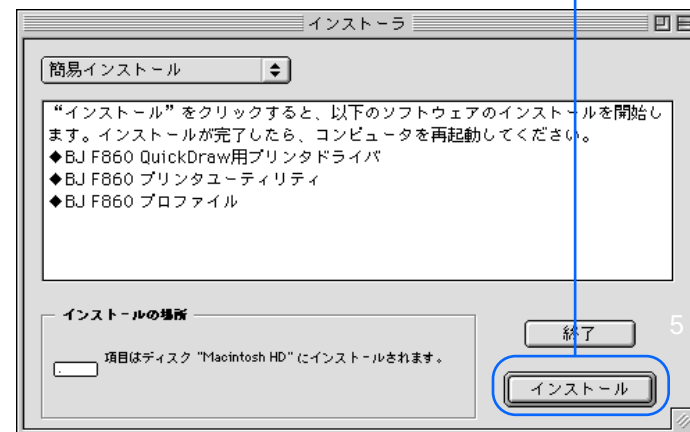
簡易インストールする場合は、次の手順で操作してください。

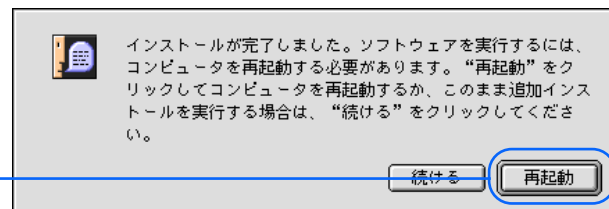
1. 『プリンタドライバ / リファレンスガイド（CD-ROM）』を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
   ・ CD-ROM の内容が表示されます。

2. [プリンタドライバ]フォルダをダブルクリックします。

3. [インストーラ] アイコンをダブルクリックします。

4. ライセンスの内容を読んで、同意する場合は [同意する] をクリックします。

5. [インストール] をクリックします。
   ・「他のアプリケーションが動作中のため処理できません」というメッセージが表示されたら、[続ける] をクリックします。ただし、保存されていない書類は消去されますので、[キャンセル] をクリックして書類を保存してください。

簡易インストール　2/2

6 **コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。**
- **コンピュータが再起動され、プリンタドライバのインストールが完了します。**

カスタムインストール 1/2

「カスタムインストール」を使うと、プリンタ関連の必要なソフトウェアだけを指定してインストールすることができます。プリンタを使うために必要なすべてのソフトウェアをインストールする場合は、「簡易インストール」を使います。

➡ 簡易インストール

カスタムインストールする場合は、次の手順で操作してください。

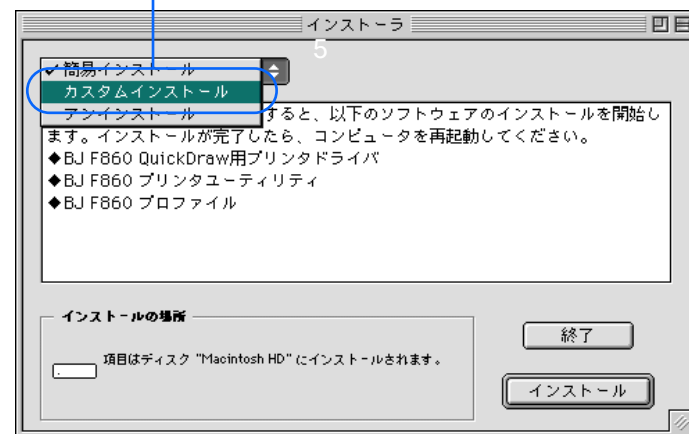
1 『プリンタドライバ / リファレンスガイド（CD-ROM）』を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
・ CD-ROM の内容が表示されます。

2 [プリンタドライバ]フォルダをダブルクリックします。

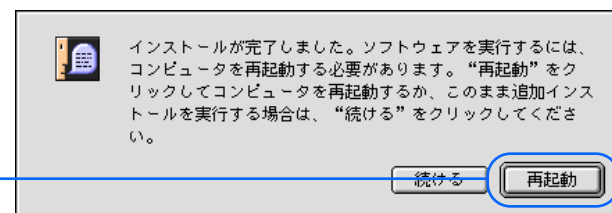
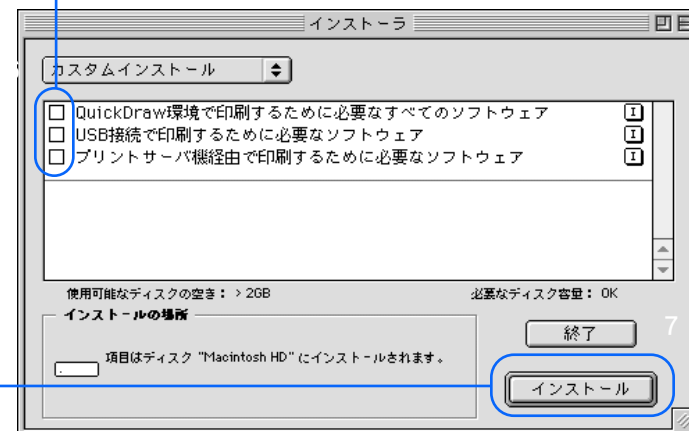
3 [インストーラ] アイコンをダブルクリックします。

4 ライセンスの内容を読んで、同意する場合は [同意する] をクリックします。

5 ポップアップメニューから [カスタムインストール] をクリックします。

カスタムインストール 2/2

6
必要な項目のチェックボックスをクリックして、インストールするファイルを選択します。
- 項目の右の I をクリックすると、ファイルの説明が表示されます。選択の参考にしてください。

7
[インストール] をクリックします。
- 「他のアプリケーションが動作中のため処理できません」というメッセージが表示されたら、[続ける] をクリックします。ただし、保存されていない書類は消去されますので、[キャンセル] をクリックして書類を保存してください。

8
コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
- コンピュータが再起動され、プリンタドライバのインストールが完了します。

プリンタドライバを削除する　1/2

プリンタドライバが不要になったときは、アンインストールを使ってプリンタドライバ関連のファイルをまとめて削除します。

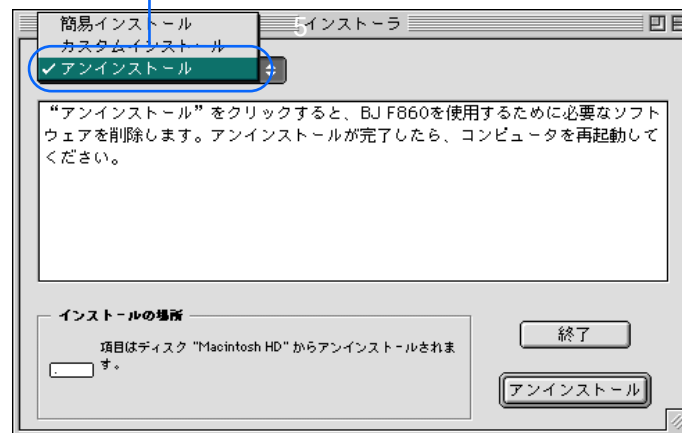
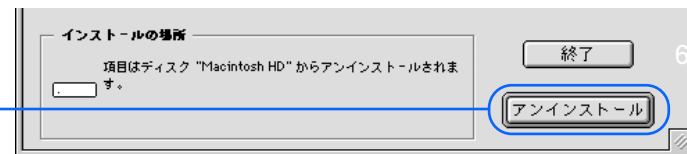
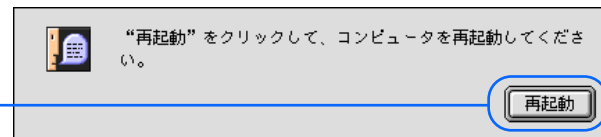
1 **『プリンタドライバ / リファレンスガイド（CD-ROM）』を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。**
- **CD-ROM の内容が表示されます。**

2 **[プリンタドライバ]フォルダをダブルクリックします。**

3 **[インストーラ] アイコンをダブルクリックします。**

4 **ライセンスの内容を読んで、同意する場合は [同意する] をクリックします。**

5 **ポップアップメニューから [アンインストール] をクリックします。**

プリンタドライバを削除する 2/2

6
[アンインストール] をクリックします。
・「他のアプリケーションが動作中のため処理できません」というメッセージが表示されたら、[続ける] をクリックします。ただし、保存されていない書類は消去されますので、[キャンセル] をクリックして書類を保存してください。

7
コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。
・コンピュータが再起動され、プリンタドライバの削除が完了します。

問題が解決しないときは

「第５章　困ったときには」を読んでもなおトラブルの原因がはっきりしない場合は、次の要領でお問い合わせください。

1

・キヤノン販売インターネットサービスまたは@nifty キヤノンステーションを活用してみましょう。

➡ インターネットサービス / パソコン通信を活用する

2

・お問い合わせ先を選びましょう。

➡ お問い合わせ先を選ぶ

3

・トラブルの状況を「お問い合わせシート」に記入しましょう。
ご相談窓口にお問い合わせいただく場合は、「お問い合わせシート」に次の事項をご記入いただいてからご連絡ください。受付時に、貴重なお時間の節約となります。
・トラブルの状況
・プリンタドライバのバージョン
・お使いになっているコンピュータの環境など

➡ 「お問い合わせシート」を記入する
➡ コンピュータの印刷環境を調べる
➡ 修理を依頼するときは

インターネットサービス / パソコン通信を活用する

キヤノン販売株式会社のホームページやパソコン通信（@nifty キヤノンステーション）には、プリンタのさまざまなトラブル情報、特定のアプリケーションに関わるトラブル情報などが掲載されています。お問い合わせの前に、ご活用ください。

●インターネット

キヤノン販売のホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）の [ユーザーサポート・FAQ] から [ワンダー BJ プリンタ] をご覧ください。

●パソコン通信（@nifty キヤノンステーション http://www.nifty.com）

@nifty にアクセス後、キヤノンステーションへの GO コマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議室」の中の「プリンタ BJ/BJC インフォメーション」をご覧ください。

お問い合わせ先を選ぶ

トラブルの状況がまとまったら、目的にあったお問い合わせ先を選びましょう。
お問い合わせ先は、目的別に次の 3 つに分かれています。

●プリンタの問題のとき

⇨ 修理サービスご相談窓口へ

プリンタがどうしても動作しない。ランプがオレンジ色に点灯して回復しない。

このようなときは、トラブルの状況や確認した結果を「お問い合わせシート」に記入し、お買い上げの販売店、またはお近くの修理サービスご相談窓口に修理を依頼してください。

➡『ご相談窓口のご案内』
➡ 修理を依頼するときは

●コンピュータなどのシステムの問題のとき

⇨ コンピュータを購入された販売店またはコンピュータメーカーへ

プリンタは正常に動作している。ソフトウエアの設定も問題ない。

このようなときは、USB ケーブル、コンピュータのシステム （メモリ、ハードディスク、インタフェース）などに原因があると考えられます。
コンピュータを購入された販売店またはコンピュータメーカーにご相談ください。

●アプリケーションソフトの問題のとき

⇨ アプリケーションソフトメーカーの電話相談窓口へ

特定のアプリケーションソフトでトラブルが起こる。

このようなときは、アプリケーションソフトそのものに原因があるか、コンピュータのシステム （メモリ、ハードディスク、インタフェース）などに原因があると考えられます。アプリケーションソフトメーカーの電話相談窓口に直接お問い合わせください。また、最新のプリンタドライバをインストールすることで解決できる場合もあります。

➡ 最新のソフトウェアを入手する

「お問い合わせシート」を記入する

お問い合わせシートは、お客様がご相談窓口にお問い合わせや修理のご依頼をされる場合に、お客様のコンピュータの印刷環境を把握するために使用します。
また、お問い合わせシートに記入する内容を、メモ書きでご用意いただいてもかまいません。

note

お問い合わせシートは、『基本操作ガイド』のものをコピーしてお使いください。

お問い合わせシートには次の内容を記入します。
・トラブルの状況
・プリンタドライバのバージョン
・お使いになっているコンピュータの印刷環境など

コンピュータの印刷環境を調べる

コンピュータの印刷環境を調べる 1/3

お問い合わせシートには、お客様のコンピュータの印刷環境をご記入いただきます。コンピュータの印刷環境の情報として、次の 4 つが必要です。

・基本システムのバージョン
・メモリ容量
・ハードディスクの容量、空き容量
・プリンタドライバのバージョン

●基本システムのバージョンとメモリ容量を調べる

次の手順で、基本システムのバージョンとメモリ容量を調べます。

1 アップルメニューから［このコンピュータについて］を選択します。

2 基本システムのバージョン、内蔵メモリ容量を確認します。

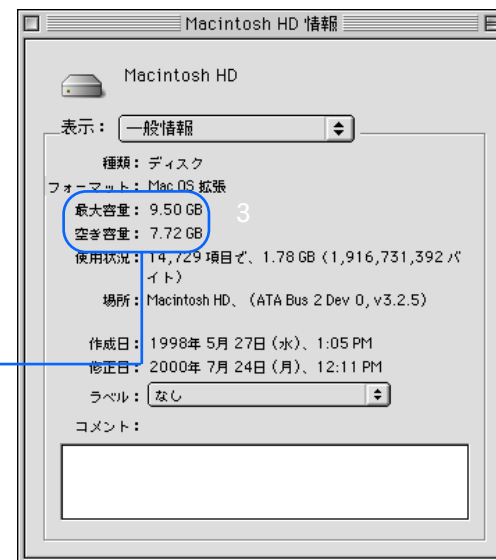
●ハードディスクの容量、空き容量を調べる

次の手順で、ハードディスクの容量、空き容量を調べます。

1. デスクトップの［Macintosh HD］アイコンをクリックして反転表示させます。

2. ［ファイル］メニューから［情報を見る］を選び、［一般情報］をクリックします。

3. ハードディスクの容量と、空き容量を確認します。

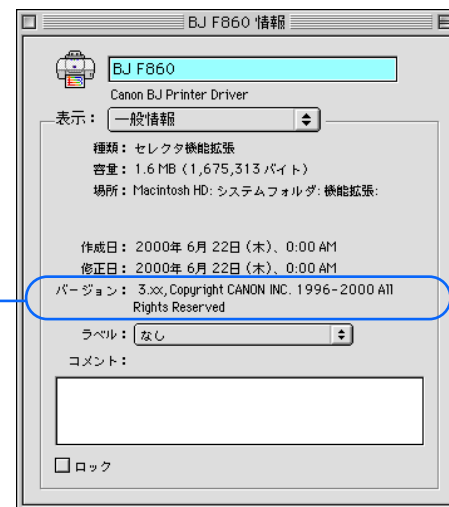
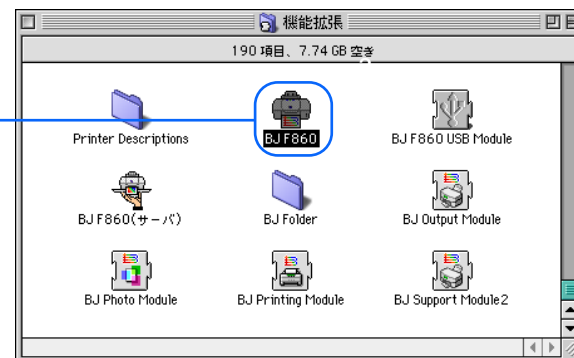
コンピュータの印刷環境を調べる　3/3

●プリンタドライバのバージョンを調べる

次の手順で、プリンタドライバのバージョンを調べます。

1 デスクトップの [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックします。

2 [システムフォルダ]、[機能拡張] フォルダの順にダブルクリックします。

3 ご使用の機種名のアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューから [情報を見る] を選び、[一般情報] をクリックします。

4 表示された 情報ウィンドウで、プリンタドライバのバージョンを確認します。

修理を依頼するときは

修理を依頼するときは、次のことをお願いいたします。

●修理サービスご相談窓口まで製品をお持ち込みいただく場合

下記の事項をメモ書きでご用意いただくと貴重なお時間の節約になります。

・お客様のお名前、ご住所 （修理後、製品を返送する場合はその住所）、電話番号

・製品名、機番（保証書／販売シートをご覧ください）

・お買い上げ日、故障した日、保証期間中の有無

・故障内容 （どのように使用したときにどんな不具合があるか）

・お買い上げいただいた販売店の住所、電話番号

note

保証期間中の場合は、保証書をお持ちくださるようお願いいたします。

●宅配便で送付していただく場合

・商品が輸送中のショックで壊れないように、なるべくご購入いただいたときの梱包をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れ、製品がガタついたりインクが漏れたりしないようにしっかりと梱包してください。

プリンタを移送する
『ご相談窓口のご案内』

BJ プリントモニタ

バックグランド印刷を実行しているときに、印刷の進行状況や、印刷待ちの文書の状態、インクの状態を確認できるソフトウェア。印刷の中止もここで行うことができる。

OS

基本ソフト

QuickDraw

Macintosh が持つ、プリンタの出力およびモニタの表示を行う描画処理システム。

USB ケーブル

USB（Universal Serial Bus）規格に対応したケーブル。プリンタやキーボード、マウス、デジタルカメラなど、さまざまな入出力機器の接続に用いられる。高速にデータの転送が行える。

アイコン

文字の代わりに機能などを表すために使われている絵や記号のこと。ソフトウェアの画面上に置かれ、クリックすると機能が実行される場合が多い。

色補正

プリンタで印刷した結果の色を何かの基準にあわせるときに行うプリンタドライバの設定。

インクタンク

プリントヘッドに取り付けるインクが入っている部分。着脱が可能で、空になったインクタンクのみ取り外して交換することができる。

印刷設定

プリンタドライバの設定を簡単に行うための機能。原稿の種類や印刷の目的に応じたアイコンを選ぶだけで、自動的に色の補正や印刷の品質を設定する。

インストール

ソフトウェアをコンピュータのハードディスクに書き込んで、そのソフトウェアを使用できるようにする作業のこと。

オートフォトパーフェクト

色かぶりや露出アンダーなどの原因で、色合いが悪くなってしまった画像を適正な色合いに補正する機能。コントラスト（ガンマ係数）の調整も行い、きれいな画像が得られるよう、適正な色合い、濃度に自動的に補正する。

ガンマ係数
完全な白と黒は変化させずに、その中間の色のコントラストを調整するための数値。数値を大きくするほど全体が暗くなり、明るい部分のコントラストは強く、暗い部分のコントラストは弱くなる。

ガンマ補正
色のコントラスト（ガンマ係数）を調整して、色合い、濃度を補正するプリンタドライバの機能。

基本ソフト
Mac OS などコンピュータを使うための基本となるソフトウェアのこと。OS（Operating System）ともいう。

クリーニング
プリントヘッドのノズルが目づまりした場合に行う、清掃のための操作。

グレースケール
カラー情報を取り除いて、白黒写真のように、白、黒、グレーのみで色を表現したもの。

スプール
コンピュータからプリンタにデータを送るときに直接プリンタにデータを送らず、ハードディスクなどの記憶装置にデータを一時的に貯えながら、データをプリンタに送る印刷処理。これによって印刷中にも他の作業を並行して行うことができる。

スライドバー
マウスでドラッグして設定を変える調整レバーのようなもの。

セレクタ
Macintosh でアップルメニューから選択する項目で、プリンタなどを使うときには、ここで使用するプリンタを選択しておく。

ダウンロード
パソコン通信やインターネットを通して、ソフトウェアを入手すること。

ディザリング
印刷物の色と形状は、吹き付けたインクの点（ドット）の集まりで表現される。この点の配置方法のことをディザリングといい、本機では、一定の法則にしたがって配置する「パターン」と、ランダムに点を配置する「誤差拡散」から選択できる。写真などの微妙な中間色を表現するには、「誤差拡散」が適している。

テストプリント
プリンタが正常に印刷動作を行うことができる状態であるかを確認するためのテスト印刷のこと。

ノズルチェックパターン
プリントヘッドのインクを噴射する部分をノズルと呼び、そのノズルからインクが正しく噴射されているかを確かめるためのテストプリントのこと。

バックグラウンド印刷
印刷しているときでも、アプリケーションソフトの操作ができるような印刷処理方法。

バナー紙
横断幕や垂れ幕のような、横（または縦）に長い用紙。

プリンタドライバ
プリンタを OS で使用するためのソフトウェア。
プリンタに付属のプリンタドライバを OS にインストールして、プリンタから印刷できるようにする。

プリントサーバ
ネットワークにおいてプリンタを接続するコンピュータのこと。

ホームポジション
印刷をしていないときの、プリントヘッドのプリンタ内での定位置。この位置にあるときは、プリントヘッドのヘッド面はプリンタ機構によって乾燥から保護される。

マッチング方法
色調整の方法のこと。データの種類に適した色調整の方法を選ぶとより良い印刷結果を得られる。
本機では、中間色を重視して色調整をする「写真」と、原色を鮮やかに表現する「グラフィックス」、基本色を重視して色調整をする「スポットカラー」の 3 種類のマッチング方法がある。

ユーティリティ

プリンタのメンテナンスに役立つ機能。プリントヘッドのメンテナンスや給紙ローラのクリーニング、テストプリントなどが行える。

リフレッシング

クリーニングより強力な、プリントヘッドの清掃機能。

割り付け印刷

複数ページを縮小して 1 ページにまとめて印刷すること。

英数字

ア行

カ行

ナ行

ハ行